

[授業概要・到達目標]

現在、学校現場では校内暴力、不登校、いじめなどの問題行動に加え、学級崩壊や子どもの荒れなど、これまで経験したことのないような新たな問題に直面し、教師はこうした問題への対応を迫られている。一方で、教師をめぐる不祥事も絶えず、教師は社会からのきびしい視線にさらされている。このような状況におかれた現場の教師は、苦悩しつつもよりよい教育のあり方を模索し続けている。この講義では教職とは何か、教師の仕事、教師に求められる資質・能力、教員養成の歴史、教師の地位と身分、教師のもつ課題など、多様な側面からアプローチすることにより、教師や教職に関する考察を深めていき、受講者各自が将来への教師像を描くことができるようにめざしていく。

[授業のねらい・方法]

現代の教師がおかれているこうした状況を念頭に置いた上で、教職のあり方について概観し、教職の意義をとらえ、さらに教職の役割や使命などについて理解することをめざす。さらに事例の考察、時事問題の紹介、ディスカッションなどをおして、内容の理解を深めていく。

[授業形態] (履修条件)

講義形式が中心となるが、ともに学びあうことが可能になるような方法(ディスカッション、コメント発表、コメントの記述など)も随時取り入れて、主体的な学びとなるようにしたい。

[各回の授業計画(内容)]

区分	事前学習	授業内容	事後学習	参考文献
第1回 内容	なぜ教師をめざしたのか、振り返っておく	教職とは何か	授業内容を復習し、不明な点を挙げておく	必要に応じて、授業内で紹介する
第2回 内容	前時の復習をする	教職の意義	同上	同上
第3回 内容	同上	教職の役割	同上	同上
第4回 内容	同上	教師の仕事	同上	同上
第5回 内容	同上	教員養成制度の歴史①:明治期から戦前	同上	同上
第6回 内容	同上	教員養成制度の歴史②:戦後	同上	同上
第7回 内容	同上	現在の教員養成制度	同上	同上
第8回 内容	同上	教師の地位	同上	同上
第9回 内容	同上	教師の身分	同上	同上
第10回 内容	同上	教師の抱える問題	同上	同上
第11回 内容	同上	教師のストレス	同上	同上
第12回 内容	同上	教師に求められる資質・能力	同上	同上
第13回 内容	同上	教職のもつ課題	同上	同上
第14回 内容	同上	これからの教師のあり方とは	同上	同上
第15回 内容	同上	全講義のまとめ	同上	同上

* 評価方法

提出物、定期試験にて評価する

* 評価基準

提出物、定期試験をそれぞれ得点化し、総合的に判断する

* テキスト

『現代教育基礎論』(酒井書店育英堂)

* 参考文献

授業中に適宜紹介する

[授業概要・到達目標]

子どもに安心感を与えながら、共に遊びを通して保育や教育支援を追究し、自己を常に高めようとする教師の育成を目指す。

[授業のねらい・方法]

保育の対象となる乳幼児は安定した情緒の下で環境を通して保育が行われるべきである。幼児の発達段階に即した支援や教師・保育者のあるべき姿について考察する。

保育の意義、歴史的背景、理解と支援、指導と評価等具体的な事例も引用しつつ、幼児の教育者としての専門性を追究する。

[授業形態] (履修条件)

講義、グループ討議・発表、実技等、内容に合わせた形態を考慮して進める。

[各回の授業計画(内容)]

区分	事前学習	授業内容	事後学習	参考文献
第1回 内容	幼稚園教育要領、保育所保育指針を読む	保育の目的、保育の方法としての遊びの意味、2年間の努力	子どもの遊びについて理解する	幼稚園教育要領解説、保育所保育指針解説書
第2回 内容	テキスト第1章を読み、保育者をイメージする	保育者とは(親にとって、子どもにとって)	自分のめざす保育者をイメージしてまとめる	同上、テキスト(保育者論の探求)
第3回 内容	テキストP160～P182を読む	保育の歴史(世界と日本)	保育の歴史を知り、保育の重要性についてまとめる	テキスト
第4回 内容	テキストP183～p190を読む	保育者の資格・身分の制度化 新しい保育と課題	保育の専門性、新しい保育の問題について理解する	テキスト
第5回 内容	テキスト第5章を読む	実践の中で保育者に求められるもの	支援は幼児心理の理解と密接であることを知る	テキスト
第6回 内容	テキスト第3章の事例を読む	幼稚園における保育者の仕事(一日の生活の流れ保育内容)	一日の生活の流れと保育内容について考察	幼稚園教育要領解説 テキスト
第7回 内容	同上	幼稚園における保育者の仕事(保護者、地域、仲間づくり)	保育者の役割についてまとめる	同上
第8回 内容	同上	保育所における保育者の仕事(子どもの生活)	保育所における乳幼児の生活の流れをまとめる	保育所保育指針解説書 テキスト
第9回 内容	同上	保育所における保育者の仕事(保護者、地域、仲間づくり)	保育所の役割を理解する	同上
第10回 内容	テキスト第4章を読み、課題を考える	保育者の成長と実践研究(実験と省察)	子どもからの学びについて理解する	幼稚園教育要領解説 テキスト
第11回 内容	同上 自分自身のテーマとして学びたいことを考える	保育者の資質向上と研修・研究	学びたいこと、身につけたいことを考え、どう心掛ければよいかまとめる	テキスト
第12回 内容	同上 よい保育者の条件について考える	実践の中で保育者に求められること(幼児理解、自分を知る、計画し行動する)	よりよい保育者について気付いたことをまとめる	同上
第13回 内容	第6章を読み、保育者の専門性について考える	専門職としての保育者の責任	専門職としてやるべきことを考えてまとめる	同上
第14回 内容	保育者を目指した展望をまとめる	希望の達成を目指す心	理想とする保育者を目指し、考えまとめる	同上
第15回 内容	プリントを読み、保育における今日的課題を考える	現在の保育のまとめ、幼・保・小連携(保育の現状と課題)	幼・保・小の連携と今日的課題をまとめ試験する	プリント

* 評価方法

授業参加、授業態度、テスト、レポートなどによる総合評価とする。

* 評価基準

授業参加(授業態度)20点、レポート20点、テスト60点

* テキスト

「保育者の探求」森上史朗+岩井慶子編 ミネルヴァ書房(要購入)

「幼稚園教育要領解説」平成20年10月 文部科学省編(要購入)

「保育所保育指針解説書」平成20年3月 厚生労働省編(要購入)

* 参考文献

「幼児教育概論」水野浩志 編著 加藤隆子 著 おうふう

「保育者論」汐見稔幸・大豆生田啓友 編 ミネルヴァ書房

「はじめて学ぶ幼児教育」ミネルヴァ書房

[授業概要・到達目標]

現在、教育はさまざまな困難をかかえ、教育をめぐる諸問題は多様化・多元化している。一方、ここ数年、社会の変化が顕著になるにつれ、幼児教育や保育に対しても新たな役割が求められつつある。この講義では、こうした状況を視野に入れ、幼児教育(保育)の現場に立つにあたって必要となる教育観、子どもの発達観をめぐる講義を行い、基礎的な幼児教育の習得をめざす。

[授業のねらい・方法]

幼児教育に関するさまざまなテーマを取り上げて、多様な側面からアプローチすることにより、受講する皆さんが、幼児教育(保育)に関する理解を深めるにしていきたい。前半では、幼児教育のあり方の基礎となる内容－教育の本質、幼児教育の目的、幼児期の発達、教育思想などについて学習し、後半では、前半の内容をふまえ、今日の幼児教育のあり方についてより具体的に理解できるように、幼児教育の内容や方法を取り上げていきたい。

[授業形態](履修条件)

講義形式が中心となるが、ともに学びあうことが可能になるような方法(ディスカッション、コメント発表、コメントの記述など)も随時取り入れて、主体的な学びとなるようにしたい。

[各回の授業計画(内容)]

区分	事前学習	授業内容	事後学習	参考文献
第1回 内容	シラバスを熟読し、授業内容を把握する	教育とは何か－教育の語源、人間にとって教育とは何かについて考える	授業内容を復習し、不明な点を挙げておく	必要に応じて、授業内で紹介する
第2回 内容	前回の授業で出たされた課題について考察しておく	発達と教育－人間の教育にとって遺伝と環境、発達がどのような意味を持つのかを考える	同上	同上
第3回 内容	同上	幼児教育の意義と目的－「幼児教育」＝「保育」のあり方を理解し、その意義を考える	同上	同上
第4回 内容	同上	幼児期の発達①－幼児期の発達とその理解について	同上	同上
第5回 内容	同上	幼児期の発達②－幼児の発達の諸側面について(1)	同上	同上
第6回 内容	同上	幼児期の発達③－幼児の発達の諸側面について(2)	同上	同上
第7回 内容	同上	幼児教育思想の歴史①(コメニウス～ルソーまで)－教育思想家の思想に触れ、近代幼児教育思想の源流をたどる	同上	同上
第8回 内容	同上	幼児教育思想の歴史②(ペスタロッチ・フレーベル)－教育思想家の思想に触れ、近代幼児教育思想の源流をたどる	同上	同上
第9回 内容	同上	幼児教育内容－幼稚園教育要領における5領域について	同上	同上
第10回 内容	同上	幼児教育方法①－幼児教育における環境・生活とは	同上	同上
第11回 内容	同上	幼児教育方法②－幼児教育における遊び・幼児の特性に応じた指導とは	同上	同上
第12回 内容	同上	幼児理解－幼児の理解と遊びの理解	同上	同上
第13回 内容	同上	幼児教育の指導計画①－教育課程と指導計画・指導計画の重要性	同上	同上
第14回 内容	同上	幼児教育の指導計画②－指導計画の作成・指導計画と実践	同上	同上
第15回 内容	同上	まとめ		同上

* 評価方法

提出物、定期試験にて評価する

* 評価基準

提出物、定期試験をそれぞれ得点化し、総合的に判断する

* テキスト

特になし。担当者が用意するプリントを使用する

* 参考文献

授業中に適宜紹介する

[授業概要・到達目標]

現在、教育はさまざまな困難をかかえ、教育をめぐる諸問題は多様化・多元化している。この講義の前半では、教育のあり方について考察する上での基礎となる内容－教育の本質、教育目的、教育思想などについて学習し、後半では、前半の内容をふまえ、今日の教育のあり方について理解を深め、教育とは何かを追究できるようにするために、現在の学校教育のあり方、教育制度、課題などを取り上げていきたい。そして、この講義を通して「教育」とは何かを考察できる教育的な視点の獲得をめざす。

[授業のねらい・方法]

この講義では、今日の教育をめぐる状況を視野に入れつつ、教壇に立つにあたって必要となる教育の基本的なあり方の習得をめざす。講義では、教育に関するさまざまなテーマを取り上げて、多様な側面からアプローチすることにより、受講する皆さんが、到達目標にあげた「教育」に関する考察を深めることができるようにしていきたい。また、教育に関する時事的な問題についても適宜取り上げて、ともに考察していきたい。

[授業形態] (履修条件)

講義形式が中心となるが、ともに学びあうことが可能になるような方法(ディスカッション、コメント発表、コメントの記述など)も随時取り入れて、主体的な学びとなるようにしたい。

[各回の授業計画(内容)]

区分	事前学習	授業内容	事後学習	参考文献
第1回 内容	シラバスを熟読し、授業内容を把握する。	教育とは何か？－教育の語源、人間にとって教育とは何かについて考える	授業内容を復習し、不明な点を挙げておく	必要に応じて、授業内で紹介する
第2回 内容	前時の復習をする。	発達と教育－人間の教育にとって遺伝と環境、発達がどのような意味を持つのかを考える	同上	同上
第3回 内容	同上	教育の目的とは？－教育の目的を歴史的な視点から考察し、今日の教育目的を探る	同上	同上
第4回 内容	同上	教育思想の歴史①(コメニウス～ルソーまで)－教育思想家の思想に触れ、近代教育思想の源流をたどる	同上	同上
第5回 内容	同上	教育思想の歴史②(ペスタロッチ～フレーベルまで)－教育思想家の思想に触れ、近代教育思想の源流をたどる	同上	同上
第6回 内容	同上	教育課程－カリキュラム、学習指導要領の変遷をたどる	同上	同上
第7回 内容	同上	教育方法①－学習指導(授業)のあり方と方法について考える	同上	同上
第8回 内容	同上	教育方法②－生徒指導のあり方とは	同上	同上
第9回 内容	同上	教育評価①－さまざまな教育評価の方法	同上	同上
第10回 内容	同上	教育評価②－学校教育における教育評価の課題	同上	同上
第11回 内容	同上	教育経営①－学校経営について考える	同上	同上
第12回 内容	同上	教育経営②－学級経営について考える	同上	同上
第13回 内容	同上	教育制度①－学校教育制度のあり方について考える	同上	同上
第14回 内容	同上	教育制度②－教育行政のあり方について考える	同上	同上
第15回 内容	同上	まとめ	同上	同上

* 評価方法

提出物、定期試験にて評価する

* 評価基準

提出物、定期試験をそれぞれ得点化し、総合的に判断する

* テキスト

『現代教育基礎論』(酒井書店・育英堂)

* 参考文献

授業中に適宜紹介する

【授業概要・到達目標】

教育に関連する諸事象について発達、学習、人格・適応、測定・評価の4領域から心理学的に研究し、教育の効果を高めるのに役立つような心理的知見と心理的技術と習得する。

【授業のねらい・方法】

テキストやプリントにより基礎的な知識を身につけたうえで、学生が自身の経験や身近な出来事に振り返り、意見交換ができるようにする。

【授業形態】(履修条件)

講義形式が中心となる。

【各回の授業計画(内容)】

区分	事前学習	授業内容	事後学習	参考文献
第1回 内容	シラバスを読んでおく	教育心理学とは何か。	配布されたプリントを読んで	おく。
第2回 内容	テキストを読んでおく	発達を規定するもの(遺伝と環境)	同上	
第3回 内容	同上	発達段階と発達課題(基本的信頼感、ハヴィガーストの発達課題)	同上	
第4回 内容	同上	学習①(レスポネント条件付け)	同上	
第5回 内容	同上	学習②(オペラント条件付け)	同上	
第6回 内容	同上	外発的動機付けと内発的動機付け		
第7回 内容	同上	記憶のメカニズム	配布されたプリントを読んで	おく。
第8回 内容		個性と個人差①	性格による学び方・教え方との関係性をまとめる。	
第9回 内容		個性と個人差②	性格による学び方・教え方との関係性をまとめる。	
第10回 内容	テキストを読んでおく。	道徳性と向社会的行動	配布されたプリントを読んで	おく。
第11回 内容	同上	知能と創造性	同上	
第12回 内容	軽度発達障害についての文献に目を通しておく。	特別な支援を要する子どもたち①	VTRを観て学んだことをノートにまとめておく。	
第13回 内容	軽度発達障害についての文献に目を通しておく。	特別な支援を要する子どもたち②	同上	
第14回 内容		子どもをめぐる人間関係	配布されたプリントを読んで	おく。
第15回 内容		まとめ		

* 評価方法

試験、出席態度、課題提出からの総合評価

* 評価基準

試験80点、出席態度20点、課題の未提出・欠席は減点とする。

* テキスト

石井正子 松尾直博編 教育心理学 保育者を目指す人へ 樹村房(幼・保クラス)

藤田周一 楠本恭久編 教職をめざす人のための教育心理学 福村出版(小・幼クラス、小・幼・保クラス)

* 参考文献

授業内で適宜紹介する。

[授業概要・到達目標]

日本の教育制度は、明治初期に欧米先進国の制度を範として整えられた。その後、教育制度は国政によって変遷を余儀なくされてきた。そこで、本講座に於いては、①～②次のように制度の変遷をたどりながら各制度の理念を理解する。①明治20年代、国際的地位の向上を図る必要から、教育の目的が近代国家発展のために貢献する国民の育成におかれたこと。②大正期には、自由主義的な教育も試みられたが、昭和期に入ると戦時体制が強化され教育に影響を与えたこと。③戦後、GHQの指導の下で教育改革がおこなわれ、現代の教育制度が整えられた。その後、教育条件が整備され、教育の量的拡大が図られたこと。

[授業のねらい・方法]

明治・大正・昭和期の各教育制度の理念を理解するとともに、初等教育の実情についても認識を深めることをねらいとする。
課題解決形式の授業を展開する。

[授業形態] (履修条件)

授業形態: 講義による一斉指導

[各回の授業計画(内容)]

区分	事前学習	授業内容	事後学習	参考文献
第1回 内容		「教育制度」の概要、および学習のねらいを解説する。	授業内容を復習する。	「教育制度」 森 秀夫著
第2回 内容	「学制」の制定と学校教育について予習する。	明治期の教育制度① 「学制」の制定と学校教育	授業内容を復習する。	同 上
第3回 内容	教育令、諸学校令の制定と学校教育について予習する。	明治期の教育制度② 教育令、諸学校令の制定と学校教育	授業内容を復習する。	同 上
第4回 内容	小学校令の改正と義務教育の確立について予習する。	明治期の教育制度③ 小学校令の改正と義務教育の確立	授業内容を復習する。	同 上
第5回 内容		明治期の教育制度の変遷をまとめる (年表形式)	「明治期の教育制度の変遷」 のまとめを完成させる。	同 上
第6回 内容	大正デモクラシーと自由教育運動について予習する。	大正期の教育制度① 大正デモクラシーと自由教育運動	授業内容を復習する。	同 上
第7回 内容	臨時教育会議と学校教育会議の充実について予習する。	大正期の教育制度② 臨時教育会議と学校教育会議の充実	授業内容を復習する。	同 上
第8回 内容	教育審議会と国民学校の成立について予習する。	昭和期(戦時下)の教育制度① 教育審議会と国民学校の成立	授業内容を復習する。	同 上
第9回 内容	戦時体制の強化と教育への影響について予習する。	昭和期(戦時下)の教育制度② 戦時体制の強化と教育への影響	授業内容を復習する。	同 上
第10回 内容		大正・昭和前期の教育制度の変遷をまとめる。 (年表形式)	「大正・昭和前期の教育制度 の変遷」のまとめを完成させる。	同 上
第11回 内容	GHQの教育改革について予習する。	昭和期(戦後)の教育制度① GHQの教育改革	授業内容を復習する。	同 上
第12回 内容	基本法規の制定と学校体系の確立について予習する。	昭和期(戦後)の教育制度② 基本法規の制定と学校体系の確立	授業内容を復習する。	同 上
第13回 内容	教育課程の改定と教育条件の整備について予習する。	昭和期(戦後)の教育制度③ 教育課程の改定と教育条件の整備	授業内容を復習する。	同 上
第14回 内容	教育職員免許法・教員免許状更新制度について予習する。	教育職員免許法・教員免許状更新制度	授業内容を復習する。	同 上
第15回 内容	教育制度の総復習をする。	教育制度の総復習及びまとめを行う。	授業内容を復習する。	同 上

* 評価方法

定期テスト、課題のまとめ、ノートの記録状況などを総合して評価する。

* 評価基準

定期テスト【6割】、 課題のまとめ【2割】、 ノートの記録状況【2割】

* テキスト

自作教材と資料を配布する。

* 参考文献

「教育制度」 森 秀夫著 学芸図書株式会社

[授業概要・到達目標]

保育所や幼稚園における保育の基本的原理を学び、保育の本質を理解するための学力を形成するとともに、「学ぶよろこび」をはじめとした情動的体験によって保育者にふさわしい人格の陶冶をめざすことを目標とする。

[授業のねらい・方法]

保育実践を導き出すために必要な基本原理(保育に関する歴史・制度・方法、価値観など)を講義形態で実施する。また、DVD等の視聴覚教材の利用により実際の保育場面を取り上げたり、一部グループワークなど演習形式も導入し、保育を実践的に考える力を養う。さらに、保育の実際の展開、現代の保育への理解、また子どもの最善の利益を保障する保育実践とはどのようなものであるのかなど、保育の理論と実践を総合的に追求していく。

[授業形態](履修条件)

講義形式で中心となるが、演習的要素も含み実施する。

保育・幼児教育に関して情報を収集し、自らの学習課題を明確にしておくこと。

[各回の授業計画(内容)]

区分	事前学習	授業内容	事後学習	参考文献
第1回 内容	シラバスを熟読する	オリエンテーション	「保育原理」の授業内容を把握する	適宜紹介する
第2回 内容	「保育」とは何かについて考察する	保育の理念と概念	「保育」について理解する	同上
第3回 内容	「子どもの権利」について考察する	児童の最善の利益を考慮した保育	「子どもの権利」の変遷を整理し、再考する	同上
第4回 内容	「保育すること」について考察する	保育の意義と目的	「保育すること」を理解する	同上
第5回 内容	保育の場について調べる	「保育の場」(家庭、保育機関・施設等)の保育	保育の場を整理する	同上
第6回 内容	日本の保育・幼児教育関連法制度を調べる	日本の保育法制度	日本の保育法制度を整理する	同上
第7回 内容	保育における「環境」とは何かをについて考える。	保育の基本・保育における環境	「環境による保育」とは何か、望ましい環境構成について理解する。	同上
第8回 内容	乳幼児の発達についてイメージする	子ども理解・保護者との連携	乳幼児期の発達と育ちについて理解する	同上
第9回 内容	保育者の役割・専門性について考察する	保育者の役割・専門性	保育者の資格、保育者の役割・専門性を再考する	同上
第10回 内容	現代社会と保育について考察する	保育の目標・子どもの育ち	現代社会と保育を再考する	同上
第11回 内容	乳幼児期の生活と遊びについて考察する	幼児期の生活と遊び・保育の総合性	乳幼児期の生活と遊びについて再考する	同上
第12回 内容	幼稚園教育要領・保育所保育指針を熟読する	保育内容・方法(計画・実践・記録・評価・反省)	保育課程・内容を整理する	同上
第13回 内容	保育の思想家・歴史について調べる	保育の思想と歴史	保育の思想と歴史を整理する	同上
第14回 内容	保育の現状と課題について調べる	保育の現状と課題	保育の現状と課題を整理する	同上
第15回 内容	授業内容を整理する	まとめ	授業内容を総復習する	

* 評価方法

定期試験、課題・発表を総合的に評価

* 評価基準

定期試験85%、課題・発表15%

* テキスト

授業時にオリジナルプリントを配布。

『幼稚園教育要領・保育所保育指針<原本>』文部科学省・厚生労働省 チャイルド本社

* 参考文献

『最新保育資料集』幼児保育研究会 ミネルヴァ書房

『保育用語辞典』森上史朗ほか編 ミネルヴァ書房

『幼児期から児童期への教育』国立教育政策研究所教育課程研究センター ひかりのくに

[授業概要・到達目標]

子どもの発達に関わる心理学の基礎を習得し、子どもが人との相互的関わりを通して発達していくことを具体的に理解する。また、生涯発達の観点から発達のプロセスや初期経験の重要性について理解し、保育実践との関連を考察する。

[授業のねらい・方法]

理解を深めるため、VTR資料の視聴等を多く取り入れる。漫然と、板書のみを写したり、VTRを視聴するのではなく、自分なりのメモを取りながら内容を整理しておくことを望む。子どもの心情や行動を理解するため、優れた絵本を読むことを課し、講義中に確認の小テストを行う。詳細については、初回に指示する。

[授業形態] (履修条件)

講義形式が中心となるが、共に学び合えるよう、グループによるワークやディスカッションを取り入れる。クラス指定。

[各回の授業計画 (内容)]

区分	事前学習	授業内容	事後学習	参考文献
第1回 内容	図書館の絵本コーナーに行き、幼い頃、自分が読んで印象に残っている本について、まとめておく	子どもの発達を理解することの意義	絵本の読書計画を立てる	福岡貞子ほか「保育者と学生・親のための乳児の絵本・保育課題絵本ガイド」ミネルヴァ書房
第2回 内容	子ども観、保育観について考えておく	子ども観と保育観	「子ども観」と「発達観」についてまとめる	萩原元昭ほか「幼児の保育と教育―質の高い保育ビジョンを求めて」学文社
第3回 内容	自分が生まれたときのことを家族に聞く(可能であれば、母子手帳を読んでおく)	胎児期・新生児期の発達(父親と母親とが協力して子育てを行うことの重要性)	「父親と母親とが協力して子育てを行うことの重要性」についてまとめる	柏木恵子「子どもが育つ条件―家族心理学から考える」岩波新書
第4回 内容	「身体機能の発達」について調べておく	乳児期の発達 ①基本的信頼感の獲得、身体的機能と運動機能の発達	「身体機能の発達」についてまとめる	山口真美「赤ちゃんは世界をどう見ているのか」平凡社新書
第5回 内容	「感情の発達」について調べておく	乳児期の発達 ②感情の発達と自我	「感情の発達と自我」についてまとめる	岡本夏木「幼児期―子どもは世界をどうつかむか」岩波新書
第6回 内容	「基本的生活習慣の自立」について調べておく	幼児期の発達 ①基本的生活習慣の自立	「基本的生活習慣の自立」についてまとめる	谷田貝公昭ほか「幼児の基本的生活習慣」文藝社
第7回 内容	「きょうだい関係」について考えをまとめておく	幼児期の発達 ②社会的相互作用(親子・きょうだい・友だち関係)	親子関係診断テストの結果について、普段の生活を振り返り、理解を深めるためのレポート(A4版1枚)を作成する	井上健治・久保ゆかり「子どもの社会的発達」東京大学出版会
第8回 内容	「アニミズム」について自分の体験をまとめておく	幼児期の発達 ③知覚と認知の発達	「直観的思考」についてまとめる	波多野完治・滝沢武久「子どものものの考え方」岩波新書
第9回 内容	「けんかの仲裁」について、自分で重要と考える点についてまとめておく	幼児期の発達 ④言葉の発達と社会性	「けんかの仲裁」についてまとめる	岡本夏木「子どもとことば」岩波新書
第10回 内容	「ギャングエイジ」について自分の体験をまとめておく	児童期の発達	「ギャングエイジ」についてまとめる	河村茂雄ほか「Q-U式学級づくり 小学校中学年―ギャングエイジ再生『満足型学級』育成の12か月」図書文化社
第11回 内容	「思春期」について自分の体験をまとめておく	思春期・青年期の発達	20答法の結果について、普段の生活を振り返り、理解を深めるためのレポート(A4版1枚)を作成する	保坂亨「いま、思春期を問い直す」東京大学出版会
第12回 内容	親にインタビューする	成人期・老年期の発達	「成人期・老年期」についてまとめる	岡本祐子「中年からのアイデンティティ発達の心理学―成人期・老年期の心の発達と共に生きることの意味」ナカニシヤ出版
第13回 内容	NHK「おかあさんといっしょ」を視聴し、感想をまとめておく	発達の規定因としての遺伝と環境	「発達の相互作用」についてまとめる	藤永保「幼児教育を考える」岩波新書
第14回 内容	「生涯発達」の考え方について自分の考えをまとめておく	生涯発達と発達援助	「生涯発達」の考え方についてまとめる	安藤寿康「心はどのように遺伝するか―双生児が語る新しい遺伝観」講談社ブルーバックス
第15回 内容	保育ビデオを観て、保育実践評価を試みる	保育実践の評価と心理学	「発達理論を保育実践に生かすこと」についてまとめる	全国保育士養成協議会現代保育研究所「やってみよう!私の保育の自己評価―厚生省ガイドライン付」フレーベル館

* 評価方法 小レポートと試験により評価する。

* 評価基準 毎回の講義内容について的小レポート15点+小テスト15点+テスト70点=100点

* テキスト 石井正子編著「発達心理学～保育者をめざす人へ～」樹村房

* 参考文献 上記参照。

[授業概要・到達目標]

各幼稚園が教育目標を達成するためには幼稚園が編成する全体の教育計画いわゆる教育課程の編成が重要な課題である。本講座では、教育課程の基準やその編成及び実施について基本的な事項を理解させるとともに教育課程の編成に必要な資質・技能の習得を目指す。

[授業のねらい・方法]

教育課程の基準、保育内容の変遷、教育課程の編成の仕方とその手順および実施について、具体的な資料に基づき究明するとともに教育課程の改善のあり方等を検討する。

[授業形態](履修条件)

年間指導計画、学習活動案の作成や教育改革に関わる「今日的な教育問題」の検討等をグループ及び全体で協議する。基本的には講義形式が中心になるが、演習や協議等を取り入れていく。目的意識をもって授業に臨んでほしい。

[各回の授業計画(内容)]

区分	事前学習	授業内容	事後学習	参考文献
第1回 内容	テキスト第1章2節「教育課程の編成」を読んでおく。	幼稚園の教育課程は、各園が編成し、幼稚園全体の教育計画であることについて理解を深めさせる。	特色のある幼稚園づくりと教育課程との関わりについてまとめる。	授業の中で適宜紹介する。
第2回 内容	テキストの付録「関係法令」等を読んでおく。	教育課程に関する法制を調べ各園の教育課程は全て法令に則り編成・実施されていることを理解させる。	教育課程の実施と法的な根拠についてまとめる。	同上
第3回 内容	テキストの序章「改訂の基本的な考え方」等を読んでおく。	幼稚園教育要領の変遷を調べ、その改善のねらいや改訂の基本方針について理解を深めさせる。	教育課程の改訂の要点、経緯や背景についてまとめる。	同上
第4回 内容	自己の考える「生きる力」について考えておく。	「生きる力」についての考え方を調べ、幼児の生きる力を育むための方策を協議し理解を深めさせる。	幼児の生きる力がどのように発揮されていくのかについてまとめる。	同上
第5回 内容	テキストの序章2節「幼稚園教育の役割」を読んでおく。	幼児期の特性や幼稚園の生活の様子を調べ幼稚園教育の役割について理解を深めさせる。	幼児期の特性と幼稚園生活との関わりについてまとめる。	同上
第6回 内容	テキストの第1章1節「幼稚園教育の基本1・2」を読んでおく。	人格形成の基礎を培うことや環境を通して行う教育の意義と特質を調べ、園教育の基本を理解させる。	幼稚園教育でいわれている環境とはどのような環境なのかまとめる。	同上
第7回 内容	テキストの第1章1節「幼稚園教育の基本3」を読んでおく。	幼児期にふさわしい生活、遊びを通しての指導等を調べ、幼稚園教育の基本に関する事項を理解させる。	遊びを通して行う総合的な指導とはどのような指導なのかまとめる。	同上
第8回 内容	テキストの第1章1節「幼稚園教育の基本4・5」を読んでおく。	計画的な環境構成、教師の役割について調べ理解を深めさせる。	教師が幼児と関わるときに留意する事や教師の役割等についてまとめる。	同上
第9回 内容	テキストの第1章3節「教育課程以外の教育活動」を読んでおく。	預かり保育や子育て支援等幼稚園における教育課程以外の教育活動について調べ、理解を深めさせる。	幼稚園における教育課程以外の教育活動をまとめる。レポート提出。	同上
第10回 内容	テキストの第3章1節「指導計画の考え方」を読んでおく。	幼児の主体性と指導の計画性、教育課程と指導計画の関連・具体的な指導等について理解を深めさせる。	教育課程と指導計画の関連や相違点等についてまとめる。	同上
第11回 内容	テキストの第3章2節「一般的な留意事項1」を読んでおく。	幼児の発達を理解、具体的なねらいや内容の設定活動の展開と教師の援助反省評価 評価と指導計画の改善等について理解させる。	保育における反省と評価のあり方改善の方向等についてまとめる。	同上
第12回 内容	テキストの第3章2節「一般的な留意事項2・3」を読んでおく。	入園から修了までの生活や体験の多様性と関連性について理解を深めさせる。	一般的な幼児の発達の過程についてまとめる。	同上
第13回 内容	テキストの第3章2節「一般的な留意事項4・5」を読んでおく。	長期的な指導計画と短期的な指導計画とのちがいが、指導上の工夫等について理解を深めさせる。	長期的な指導計画と短期的な指導計画とのちがいがについてまとめる。	同上
第14回 内容	テキストの第3章2節「一般的な留意事項6～8」を読んでおく。	家庭や地域社会との連携、小学校以降の生活や学習の基盤づくりについて理解を深めさせる。	小学校就学までに生活や学習面でどんな力をつけていくかをまとめる。	同上
第15回 内容	これまでに学習してきたことをまとめておく。	まとめ。今日的な教育課題について協議させ理解を深めさせる。	本時までに学習したことをまとめておく。	同上

* 評価方法 試験、レポート、提出物等をもとに評価する。

* 評価基準 試験(50%)、レポート(30%)、提出物等(20%)を総合的に評価する。

* テキスト 文部科学省「幼稚園教育要領 解説」平成20年8月 フレーベル館

* 参考文献 授業の中で適宜紹介する。

[授業概要・到達目標]

教育課程は、学校の教育目標を達成するために、学校が編成する全体の教育計画である。本講座では、教育課程の基準やその編成及び実施について基本的な事項を理解させるとともに教育課程の編成に必要な資質・技能の習得を目指す。

[授業のねらい・方法]

教育課程の基準、改訂の変遷、教育課程の編成の仕方とその手順および実施について、具体的な資料に基づき究明するとともに教育課程の改善のあり方等を検討する。

[授業形態] (履修条件)

年間指導計画・週学習指導計画、時間割の編成、教育改革に関わる「今日的な教育問題」の検討等をグループ及び全体で協議する。基本的には講義形式が中心になるが、演習や協議等を取り入れていく。目的意識をもって授業に臨んでほしい。

[各回の授業計画(内容)]

区分	事前学習	授業内容	事後学習	参考文献
第1回 内容	テキスト第1章2節「教育課程の基準」を読んでおく。	小学校の教育課程は、各校が編成し、学校全体の教育計画であることについて理解を深めさせる。	特色のある学校づくりと教育課程との関わりについてまとめる。	授業の中で適宜紹介する。
第2回 内容	テキストの付録(参考法令)を読んでおく。	教育課程に関する法制を調べ学校の教育課程は全て法令に則り編成・実施されていることを理解させる。	教育課程の実施と法的な根拠についてまとめる。	同上
第3回 内容	テキスト第1章総説「改訂の基本的な考え方」等を読んでおく。	平成20年度学習指導要領の改善のねらいや改訂の基本方針について理解させる。	教育課程の改訂の経過やその背景についてまとめる。	同上
第4回 内容	テキストの付録「学習指導要領の改訂の経過」を読んでおく。	小学校学習指導要領の変遷を調べ、その改善のねらいや改訂の基本方針について理解させる。	教育課程の改訂の要点、経緯や背景についてまとめる。	同上
第5回 内容	テキスト第3章「教育課程の一般方針」を読んでおく。	教育課程編成の原則、道徳教育の指導、体育・健康に関する指導について理解させる。	学校全体で取り組む活動と各教科、各学級で行う活動についてまとめる	同上
第6回 内容	テキスト第3章「内容の取扱い・共通的事項」を読んでおく。	各教科の内容の共通的な扱い、複式学級の教育課程等の特例について理解を深めさせる。	複式学級の教育課程編成の特例についてまとめる。	同上
第7回 内容	テキスト第3章「授業時数等」1～4を読んでおく。	各教科・特別活動等の授業時数の基準を調べ、時間割編成のポイントについて理解させる。	年間の授業実数と週授業時数の関連についてまとめる。	同上
第8回 内容	テキスト第3章「授業時数等」5～7を読んでおく。	年間授業日数、時間割の弾力的編成等、授業時数の取扱いについて理解させる。	時間割の作成の配慮事項と問題点についてまとめる。レポート提出。	同上
第9回 内容	テキスト第3章「指導計画の作成」を読んでおく。	教科目標及び内容の示し方を調べ、指導計画作成のしかたについて理解させる。	調和のとれた指導計画作成の留意事項についてまとめる。	同上
第10回 内容	テキスト第3章「実施上の配慮事項」1～4を読んでおく。	実施上配慮事項(言語活動、体験的・問題解決的な学習など)について理解させる。	言語活動の充実にかかわる内容についてまとめる。	同上
第11回 内容	テキスト第3章「実施上の配慮事項」5～8を読んでおく。同上	実施上配慮事項(課題選択学習・障害のある児童に関する指導など)について理解させる。	特別支援学級の指導についてまとめる。	同上
第12回 内容	テキスト第3章「実施上の配慮事項」9～12を読んでおく。	実施上配慮の事項(学校図書館の利用、指導と評価の改善、連携教育など)について理解させる。	学校の目的を達成するために地域や家庭との連携の必要性をまとめる。	同上
第13回 内容	テキスト第4章「教育課程編成との手順と評価」を読んでおく。	特色ある教育課程編成の手順と学校評価のあり方について理解させる。	学校評価ガイドラインの内容についてまとめる。	同上
第14回 内容	テキストの付録「中学校学習指導要領総則」を読んでおく。	幼稚園や保育所・小学校との連携教育、小学校・中学校との連携教育の現状について理解させる。	幼小中の連携教育のあり方についてまとめる。	同上
第15回 内容	これまでに学習してきたことをまとめておく。	まとめ。今日的な教育課題について協議させ理解を深めさせる。	本時までに学習したことをまとめておく。	同上

* 評価方法 試験、レポート、提出物等をもとに評価する。

* 評価基準 試験(50%)、レポート(30%)、提出物等(20%)を総合的に評価する。

* テキスト 文部科学省「小学校学習指導要領解説 総則編」平成20年8月 東洋館出版

* 参考文献 授業の中で適宜紹介する。

[授業概要・到達目標]

小学校における国語科教育の目標や内容、学習指導のあり方などについての理解を深めさせ、実践に生きる知識や態度、技能を身につけさせる。

[授業のねらい・方法]

国語科教育に関する基本的な考え方を理解させるとともに、具体的な言語活動の実践を通して、体験的な理解を促し、授業力を向上させる。

[授業形態] (履修条件)

- ・講義形式を主とするが、個人またはグループでの作業や発表活動も採り入れる。
- ・小学校教諭二種免許状取得希望者
- ・復習を意欲的に進め、課題に堅実に取り組むこと。

[各回の授業計画(内容)]

区分	事前学習	授業内容	事後学習	参考文献
第1回 内容	オリエンテーション	国語教育の今日的課題	復習し、課題に取り組む	適宜紹介する
第2回 内容	授業内容に関連した学習	日本語教育、国語教育、国語科教育	同 上	同 上
第3回 内容	同 上	学習・教材・教材研究	同 上	同 上
第4回 内容	同 上	小学校学習指導要領の目標と内容	同 上	同 上
第5回 内容	同 上	話すこと・聞くことの指導	同 上	同 上
第6回 内容	同 上	話すこと・聞くことの指導の事例研究	同 上	同 上
第7回 内容	同 上	読むことの指導(説明文)	同 上	同 上
第8回 内容	同 上	読むことの指導(文学的な文章)	同 上	同 上
第9回 内容	同 上	読むことの指導の事例研究	同 上	同 上
第10回 内容	同 上	音声言語に関わる読みの指導	同 上	同 上
第11回 内容	同 上	書くことの指導の事例研究	同 上	同 上
第12回 内容	同 上	伝統的な言語文化の指導の事例研究	同 上	同 上
第13回 内容	同 上	国語の特質に関する事項の指導の事例研究	同 上	同 上
第14回 内容	同 上	書写の指導の事例研究	同 上	同 上
第15回 内容	資料を整理し、授業全体の内容	を復習する 授業のまとめと評価	同 上	同 上

* 評価方法

理解度や到達度をはかるための試験、課題の実現状況をもとに、総合的に評価する。

* 評価基準

試験(5割)、課題の実現状況(5割)

* テキスト

小学校学習指導要領解説国語編 その他必要に応じてプリントを配付する。

* 参考文献

授業中に適宜紹介する。

[授業概要・到達目標]

地域社会やわが国の国土、歴史などに対する深い理解と愛情を深めることを通して、社会的な見方や考え方を養い、それらを通して身につけた知識や技能を活用して、よりよい社会の形成に参画する資質や能力の基礎を培うことを目的とする。さらに、社会科教育の目標、内容、教材の活用などをふまえたうえで、具体的かつ有効な社会科指導法のあり方について、実践的な技能を習得する。

[授業のねらい・方法]

小学校社会科の目標、内容、指導計画、教材作成、指導のあり方について、より実践的な指導方法のあり方を学ぶ。具体的には、前半では社会科指導の概念や価値について講義を中心とした授業を展開し、必要に応じてグループ学習、ディスカッション、視聴覚機器の活用など多様な学習形態を取り入れる。また、後半では模擬授業に向けて教材の吟味、学習指導案の作成を中心として、より実践的な指導方法のあり方を学ぶ。

[授業形態](履修条件)

講義形式で行うが、学習内容によってはディスカッションなどの演習的要素を盛り込んだ授業を行う。

履修にあたっては、1年時の「社会」を受講していることが望ましい。授業にあたっては、自ら学ぶ姿勢を大切に、社会科指導への情熱をもって臨んでほしい。

遅刻・私語・授業中の携帯電話使用は厳禁とする。

[各回の授業計画(内容)]

区分	事前学習	授業内容	事後学習	参考文献
第1回 内容	シラバスを精読する	オリエンテーション、社会科教育方法の概念	授業内容をまとめる	適宜紹介する
第2回 内容	授業テーマについて調べる (課題提示)	社会科の目標	授業内容をまとめる	"
第3回 内容	授業テーマについて調べる (課題提示)	社会科と教育法規との関連	授業内容をまとめる	"
第4回 内容	授業テーマについて調べる (課題提示)	社会科の内容①(3・4年)と重点指導事項	授業内容をまとめる	"
第5回 内容	授業テーマについて調べる (課題提示)	社会科の内容②(3・4年)と重点指導事項	授業内容をまとめる	"
第6回 内容	授業テーマについて調べる (課題提示)	社会科の内容①(5年)と重点指導事項	授業内容をまとめる	"
第7回 内容	授業テーマについて調べる (課題提示)	社会科の内容②(5年)と重点指導事項	授業内容をまとめる	"
第8回 内容	授業テーマについて調べる (課題提示)	社会科の内容①(6年)と重点指導事項	授業内容をまとめる	"
第9回 内容	授業テーマについて調べる (課題提示)	社会科の内容②(6年)と重点指導事項	授業内容をまとめる	"
第10回 内容	授業テーマについて調べる (課題提示)	指導計画立案の方法	授業内容をまとめる	"
第11回 内容	授業テーマについて調べる (課題提示)	学習指導案の作成①	学習指導案の作成	"
第12回 内容	学習指導案作成	学習指導案の作成②	学習指導案の作成	"
第13回 内容	模擬授業の準備	模擬授業・研究協議①	課題を整理し、課題解決のためのレポート作成	"
第14回 内容	模擬授業の準備	模擬授業・研究協議②	課題を整理し、課題解決のためのレポート作成	"
第15回 内容	授業テーマについて調べる(課題提示)	まとめ	授業内容をまとめる	"

* 評価方法

試験、学習指導案、レポート、日常の学習状況等を総合的に評価する。

* 評価基準

試験50点、学習指導案30点、レポート20点

* テキスト

「新しい社会」(3～6年)東京書籍、「小学校学習指導要領解説:社会編」
必要に応じて資料プリントを配布する。

* 参考文献

参考文献等は、授業中に適宜紹介する。

[授業概要・到達目標]

算数科における各学年及び領域別指導体系について概説し、指導計画、指導案、評価などの基本的な事項について学ぶ。

[授業のねらい・方法]

- 1 小学校教育での算数科の位置づけ、目標と内容及び指導法について理解する。
- 2 算数科における四領域の構成と相互の関連性、学年間の系統性について理解する。
- 3 教師として身につけておくべき基礎的事項や学習内容の進化・発展に伴う指導上の留意点について理解する。
- 4 評価のあり方について理解するとともに、指導計画・学習指導案の作成等をおおして良い授業とはどんなものか考える。

[授業形態](履修条件)

講義及び学生による発表 教科の「算数」を履修しておくことが望ましい。

[各回の授業計画(内容)]

区分	事前学習	授業内容	事後学習	参考文献
第1回 内容	諸文献の準備とその概要及び算数科の目標の把握	オリエンテーション(授業目的と内容及び算数科教育の特質等について)	これからの学習内容の理解 本時の学習の復習と整理	指導要領及び解説 小学校教科書
第2回 内容	教育に関わる法令にはどのようなものがあるか調べておく	算数科指導に関わる法令体系 小学校教育及び算数科教育の目的	個々の法令、特に教育基本法についての理解を深める	指導要領及び解説 小学校教科書
第3回 内容	学習指導要領の領域構成と内容について調べる	小学校学習指導要領(算数科編)と指導計画 (総則等全体像の把握と算数科の内容構成)	指導計画の概略を書いてみる(プリントを用意)	指導要領及び解説 小学校教科書
第4回 内容	指導要領の内容が教科書ではどう具体化されているか調べる	1,2学年の領域別指導体系 (指導目標と内容について)	各学年の指導内容とその系統性について整理すること	指導要領及び解説 小学校教科書
第5回 内容	指導要領の内容が教科書ではどう具体化されているか調べる	3,4学年の領域別指導体系 (指導目標と内容について)	各学年の指導内容とその系統性について整理すること	指導要領及び解説 小学校教科書
第6回 内容	指導要領の内容が教科書ではどう具体化されているか調べる	5,6学年の領域別指導体系 (指導目標と内容について)	各学年の指導内容とその系統性について整理すること	指導要領及び解説 小学校教科書
第7回 内容	事前に与えた想定授業について指導略案を書いてみる	学習指導案について (指導案の書き方と学生自らによる作成)	学習指導案の加除修正によりその改善を図る	指導要領及び解説 小学校教科書
第8回 内容	記数法、分数・小数の意味及び分数・小数の計算の仕方の確認	領域別学習内容の把握と整理 A 数と計算(整数、分数、小数とその計算)	指導目標と内容及び教科書の関連について再確認	指導要領及び解説 小学校教科書
第9回 内容	いろいろな図形の面積・体積を求めること(事前配付プリント)	領域別学習内容の把握と整理 B 量と測定(量の概念と面積・体積の測定)	指導目標と内容及び教科書の関連について再確認	指導要領及び解説 小学校教科書
第10回 内容	色々な平面図形や立体図形についての面積や体積の求め方	領域別学習内容の把握と整理 C 図形(位置関係、平面や立体図形の操作等)	指導目標と内容及び教科書の関連について再確認	指導要領及び解説 小学校教科書
第11回 内容	百分率や比例の意味、統計的資料を棒グラフに表してみる	領域別学習内容の把握と整理 D 数量関係(式とグラフ、百分率、統計等)	指導目標と内容及び教科書の関連について再確認	指導要領及び解説 小学校教科書
第12回 内容	四則計算や分数・小数と関連ある身の回りの事柄を調べる	日常の事象と算数科との関わりの発見 (整数の加法、分数の意味と計算等)	授業で扱った事象以外の事柄について考えてみる	指導要領及び解説 小学校教科書
第13回 内容	良い授業を実践するために必要と思われる基本的な事項の調査	授業の基礎技術について (発問、板書、机間指導、指名等について)	個々の基礎技術について、その重要性を整理する	指導要領及び解説 小学校教科書
第14回 内容	評価の意義、あり方、どのような評価があるかなどについて調査	評価について (観点別評価、形成的評価等の理解)	評価を指導の改善にどう生かすか考える(レポート)	指導要領及び解説 小学校教科書
第15回 内容	既習事項の整理と試験の準備	四領域のまとめと演習	本時までに学んだことを復習・整理する。	指導要領及び解説 小学校教科書

* 評価方法

レポート、小テスト、定期試験の成績等による。

* 評価基準

レポート20%、小テスト20%、定期試験成績40%をもとに総合的に評価する。

* テキスト

配付プリント及び小学校学習指導要領(算数編)およびその解説

* 参考文献

小学校(算数)教科書及びその他の算数科指導法に関する書籍

[授業概要・到達目標]

理科への意欲を喚起し、主体的に学習させる指導法のあり方を研究するとともに、理科の指導力を育成することを目的とする。

[授業のねらい・方法]

学習指導要領によれば、小学校理科の授業は、問題解決学習を中心とした内容構成が重要である。なお、その裏付けとして言えることは、理科の目標に「問題解決の能力や自然を愛する心情を育てるとともに、自然の事物・現象についての実感を持った理解をはかり、科学的な見方や考え方を養う」と掲げられていることである。このことを目指すには、児童一人ひとりの理科学習に対する興味関心を高めることが肝要である。

そこで、意欲を喚起させるために、指導者の立場から教材の扱い方、観察や実験の設定方法などを研究させる。また、区分別【A:物質、エネルギー B:生命・地球】に教材を構成し、実践的な授業を展開する。

[授業形態] (履修条件)

授業形態: 講義、模擬授業、模擬研修を組み合わせで行う。

履修条件: 小学校教諭二種免許状取得を希望する者

[各回の授業計画(内容)]

区分	事前学習	授業内容	事後学習	参考文献
第1回 内容	小学校学習指導要領を読む	小学校学習指導要領(理科編)の解説	授業内容を復習する	小学校学習指導要領
第2回 内容	年間の指導準備計画を立てる	小学校理科の指導計画について	課題のまとめを作成する。	小学校学習指導要領
第3回 内容	4年B「季節と生物」の教材を予習する。	4年B「季節と生物」の観察・実験および指導法の工夫	授業評価および課題のまとめを作成する。	小学校学習指導要領
第4回 内容	6年A「燃焼の仕組み」の教材を予習する。	6年A「燃焼の仕組み」の観察・実験および指導法の工夫	授業評価および課題のまとめを作成する。	小学校学習指導要領
第5回 内容	6年B「人の体のつくりとはたらき」の教材を予習する。	6年B「人の体のつくりとはたらき」の観察・実験および指導法の工夫	授業評価および課題のまとめを作成する。	小学校学習指導要領
第6回 内容	3年A「磁石の性質」の教材を予習する。	3年A「磁石の性質」の観察・実験および指導法の工夫	授業評価および課題のまとめを作成する。	小学校学習指導要領
第7回 内容	5年B「動物の誕生」の教材を予習する。	5年B「動物の誕生」の観察・実験および指導法の工夫	授業評価および課題のまとめを作成する。	小学校学習指導要領
第8回 内容	4年A「電気の働き」の教材を予習する。	4年A「電気の働き」の観察・実験および指導法の工夫	授業評価および課題のまとめを作成する。	小学校学習指導要領
第9回 内容	3年B「太陽と地面の様子」の教材を予習する。	3年B「太陽と地面の様子」の観察・実験および指導法の工夫	授業評価および課題のまとめを作成する。	小学校学習指導要領
第10回 内容	6年A「電気の利用」の教材を予習する	6年A「電気の利用」の観察・実験および指導法の工夫	授業評価および課題のまとめを作成する。	小学校学習指導要領
第11回 内容	6年B「生物と環境」の教材を予習する。	6年B「生物と環境」の観察・実験および指導法の工夫	授業評価および課題のまとめを作成する。	小学校学習指導要領
第12回 内容	4年A「金属、水、空気と温度」の教材を予習する。	4年A「金属、水、空気と温度」の観察・実験および指導法の工夫	授業評価および課題のまとめを作成する。	小学校学習指導要領
第13回 内容	6年B「月と太陽」の教材を予習する。	6年B「月と太陽」の観察・実験および指導法の工夫	授業評価および課題のまとめを作成する。	小学校学習指導要領
第14回 内容	3年A「物と重さ」の教材を予習する	3年A「物と重さ」の観察・実験および指導法の工夫	授業評価および課題のまとめを作成する。	小学校学習指導要領
第15回 内容	理科教育法の総復習を行う。評価テストに備えて学習する。	理科教育法の総復習とまとめ	授業内容を復習する。	小学校学習指導要領

* 評価方法

定期テスト、授業評価・研修報告、授業態度などを総合して評価する。

* 評価基準

定期テスト【5割】 授業評価・課題のまとめ【5割】

* テキスト

自作教材と資料を配付する。

* 参考文献

小学校学習指導要領(理科編)、小学校「理科」の教科書、小学校「理科」の教師用指導書

[授業概要・到達目標]

生活科の基本的な事項を理解させるとともに、学習指導の展開について必要な資質・技能の習得を目指す。

[授業のねらい・方法]

生活科の目標や内容、指導計画の作成の要点等をとらえ理解を深めるとともに、具体的な授業実践にふれながら生活科を実践する際に必要な資質・技能の習得を目指す。

[授業形態] (履修条件)

学習指導案の作成や評価のあり方の検討等をグループ及び全体で協議する。基本的には講義形式が中心になるが、模擬授業などの演習や協議等を多く取り入れていく。目的意識をもって授業に臨んでほしい。

[各回の授業計画(内容)]

区分	事前学習	授業内容	事後学習	参考文献
第1回 内容	テキスト第1章総説を読んでおく。	改善の基本的な考え方や生活科の改訂の趣旨要点等を調べその概要を理解させる。	生活科の特質等についてまとめる。	授業の中で適宜紹介する。
第2回 内容	テキストの第2章生活科の目標を読んでおく。	教科目標の構成や趣旨を調べ生活科の究極的なねらいについて理解を深めさせる。	生活科の究極的なねらいについてまとめる。	同上
第3回 内容	同上	2学年に共通の目標が設定されていることの意義や学年の目標の趣旨を理解させる。	教科目標と学年の目標との関連についてまとめる。	同上
第4回 内容	テキストの第3章生活科の内容構成を読んでおく。	生活科の視点と内容とのかかわり、内容構成の考え方について理解させる。	基本的な視点、具体的な視点とかわり改善された点についてまとめる。	同上
第5回 内容	同上	同上	同上 レポート提出	同上
第6回 内容	テキストの第3章2節生活科の内容1・2をまとめる。	主として「学校と生活」、「家庭と生活」の内容について理解させる。	家庭や学校での子どもの生活と人々の生活とのかかわりについてまとめる	同上
第7回 内容	テキストの第3章2節生活科の内容3・4をまとめる。	主として「地域と生活」、「公共物や公共施設の利用」の内容について理解させる。	地域にある公共物・公共施設の利用の工夫についてまとめる。	同上
第8回 内容	テキストの第3章2節生活科の内容5・6をまとめる。	主として「季節の変化と生活」、「自然やものを使った遊び」に関する内容について理解させる。	生活科の内容5. 6について理科の学習と比較してまとめる。	同上
第9回 内容	テキストの第3章2節生活科の内容7～9をまとめる。	主として動植物の飼育・栽培「生活や出来事の交流」、「自分の成長に関する内容を理解させる。	「生活や出来事の交流」と他の内容についての関係をまとめる。	同上
第10回 内容	テキストの第4章指導計画の内容の扱いを読んでおく。	指導計画作成にあたっての留意すべき基本的な配慮事項について理解させる。	子どもの実態や地域環境の特徴を把握して生かす方法をまとめる。	同上
第11回 内容	これまでの授業をふりかえり模擬授業の準備をする。	実践校の事例を参考に指導計画案及び学習指導案を作成させる。	学習指導案の作成のための準備。	同上
第12回 内容	模擬授業の準備をする。	模擬授業をおこない、改善点について協議し授業の進めたかについて理解させる。	同上	同上
第13回 内容	教育実習での経験等を想起し評価方法をまとめておく。	生活科における評価の考え方や方法、指導要録の観点等を調べ評価方法の基本を理解させる。	指導と評価の一体化等、評価の基本的な考え方についてまとめる	同上
第14回 内容	前時の授業の要点をまとめておく。	各学校で行われている生活科のポートフォリオ等、指導に生きる評価を理解させる。	行動観察、発言や作品の分析等、具体的な評価方法についてまとめる。	同上
第15回 内容	これまでに学習してきたことをまとめておく。	生活科学習の指導のあり方について協議させ理解を深めさせる。	本時までに学んだことをまとめる。	

* **評価方法** 試験、学習指導案、レポート、提出物等をもとに評価する。

* **評価基準** 試験(50%)、学習指導案(20%)、レポート(20%)、提出物等(10%)を総合的に評価する。

* **テキスト** 文部科学省「小学校学習指導要領解説 生活編」平成20年8月 日本文教出版

* **参考文献** 授業の中で適宜紹介する。

[授業概要・到達目標]

小学校での音楽科教育の目的は、音楽のよさを感じ取り、思いや意図をもって表現したり味わって鑑賞したりする力の育成や、音楽と生活のかわりに関心を持って生涯にわたり音楽文化に親しむ態度を育むことである。この目的に基づき、小学校音楽科教育に必要な知識・技能をみにつけさせ、指導できる実践力を養う。

[授業のねらい・方法]

前半の回では主に小学校音楽科教育に必要な知識・技能等、音楽科教育の概論を学び、後半の回では指導案作成や模擬授業を展開する。又、リコーダーアンサンブルや、歌唱アンサンブルも適宜加える。

[授業形態](履修条件)

講義・実技・発表・模擬授業等を行う。

[各回の授業計画(内容)]

区分	事前学習	授業内容	事後学習	参考文献
第1回 内容	シラバスを確認する	オリエンテーション・音楽科教育とは	授業の復習をする	適宜紹介
第2回 内容	小学校音楽科学習指導要領を読む	音楽科の学習指導計画・学習指導要領の内容構成について学ぶ	復習及びリコーダー練習	適宜紹介
第3回 内容	小学校音楽科学習指導要領を読む	歌唱の学習と指導について	復習及びリコーダー練習	適宜紹介
第4回 内容	小学校音楽科学習指導要領を読む	器楽の学習と指導について	復習及びリコーダー練習	適宜紹介
第5回 内容	小学校音楽科学習指導要領を読む	音楽づくりの学習と指導について	復習及びリコーダー練習	適宜紹介
第6回 内容	小学校音楽科学習指導要領を読む	鑑賞の学習と指導について	復習及びリコーダー練習	適宜紹介
第7回 内容	評価について事前に予習する	音楽学習の評価について	復習及びリコーダー練習	適宜紹介
第8回 内容	幼少中の連携について事前に考えておく	今日的課題・幼・小・中の連携	復習及びリコーダー練習	適宜紹介
第9回 内容	伴奏法。指揮法について予習する。	伴奏法・指揮法	復習及びリコーダー練習	適宜紹介
第10回 内容	指導案の作成について予習する	る	指導案の作成 指導案について確認する	適宜紹介
第11回 内容	模擬授業の準備	模擬授業・研究協議	模擬授業を振り返る。	適宜紹介
第12回 内容	模擬授業の準備	模擬授業・研究協議	模擬授業を振り返る。	適宜紹介
第13回 内容	模擬授業の準備	模擬授業・研究協議	模擬授業を振り返る。	適宜紹介
第14回 内容	模擬授業の準備	模擬授業・研究協議	模擬授業を振り返る。	適宜紹介
第15回 内容	これまで学んだことを振り返っておく	まとめ	まとめ	適宜紹介

* 評価方法

指導案・模擬授業・試験

* 評価基準

指導案20%・模擬授業30%・試験50%

* テキスト

最新 初等科音楽教育法 小学校教員養成課程用 音楽之友社

* 参考文献

適宜紹介します。

[授業概要・到達目標]

図画工作科の教育法に関する基本的な知識と技能を習得する。

[授業のねらい・方法]

本授業は、小学校図画工作科における造形活動の理解と体験を通じて、その教育法を習得することに目的がある。作品製作を中心にした実技の力と、造形活動に関わる「ライティング(文章作成)」の力を重視し、表現および鑑賞等、美術教育を行う上で必要だと思われる基本的な知識と技能の習得を目指す。

[授業形態](履修条件)

作品製作等の実技、講義。

履修条件:小学校二種免許取得希望者を中心とする。

なお、授業の進度によって、授業内容を変更(調整)することがある。

[各回の授業計画(内容)]

区分	事前学習	授業内容	事後学習	参考文献
第1回 内容	材料・用具・資料等の準備	ガイダンス/木版画①	本授業の概要と木版画の原画製作	適宜紹介
第2回 内容	"	木版画②	版の製作について	"
第3回 内容	"	木版画③	彫刻刀の取り扱いと安全面の諸注意	"
第4回 内容	"	木版画④	刷り、印刷と色彩について	"
第5回 内容	"	粘土の焼成の体験	粘土の焼成の体験について	"
第6回 内容	"	子どもと造形活動の発達過程	子どもと造形活動の発達過程の理解	"
第7回 内容	"	図画工作科の歴史	図画工作科の歴史の理解	"
第8回 内容	"	鑑賞、共通事項、言語活動の充実	身のまわりの作品、他について	"
第9回 内容	"	指導計画の作成と内容の取り扱い	教育内容、他について	"
第10回 内容	"	教材研究①	授業のねらいと評価の観点について	"
第11回 内容	"	教材研究②/学習指導案の作成	学習指導案について	"
第12回 内容	"	教材研究③/作品製作	作品製作(実技)について	"
第13回 内容	"	教材研究発表①	各学年における教育内容について①	"
第14回 内容	"	教材研究発表②	各学年における教育内容について②	"
第15回 内容	"	まとめ	図画工作科に関する理解とまとめ	"

* 評価方法

図工教育法に関する基本的な知識を理解し、技能を習得するために、作品製作や、ファイル、発表を含めたレポート類、等の作成を行い、期末に提出する。

* 評価基準

提出物(「作品(50点)」、「ファイル、発表を含めたレポート類、等(50点)」)を中心に総合的に評価する。

* テキスト

文部科学省『小学校学習指導要領解説 図画工作編 平成20年8月』日本文教出版、2008

* 参考文献

新井哲夫、天形健、山口喜雄/編著『小学校図画工作科の指導』建帛社、2010

* その他

描画材料一式が必要になる。

[授業概要・到達目標]

- ・学習指導要領の理解に基づきながら教科書で扱っている内容を調べ、教材と指導法を学ぶ。
- ・題材の基礎・基本は何か、児童にどのように生活を見つめさせ課題を持たせたらよいか、実習を伴った授業や問題解決的学習、学んだことを家庭に返す授業はどうするのか、授業の組み立て方を学ぶ。

[授業のねらい・方法]

- ・小学校家庭科の意義を理解し、児童が意欲的に取り組む授業・わかる授業を展開するために必要な資質・技能を習得する。

[授業形態](履修条件)

- ・講義、演習、実習。
- ・「家庭」を履修した者で小学校教諭二種免許取得を目指す者。

[各回の授業計画(内容)]

区分	事前学習	授業内容	事後学習	参考文献
第1回 内容	学習指導要領(家庭)、テキスト3章①②④を読む	小学校家庭科の特徴と学習指導要領	課題をまとめる	適宜紹介
第2回 内容	予習(テキスト3章③)	年間指導計画の作成・単元の指導計画の作成について	課題をまとめる	
第3回 内容	学習指導要領「日常の食事と調理の基礎」を読む	小学校家庭科の指導内容 (1)日常の食事と調理の基礎	課題をまとめる	
第4回 内容	予習(テキストP72「食生活の授業」、4章②)	小学校家庭科の指導内容 (2)日常の食事と調理の基礎の指導案作成	課題を提出①	
第5回 内容	教具作成に必要な材料の用意	児童の学びを助ける補助教具やプリントの作成	課題を提出②	
第6回 内容	予習(テキスト4章③)	模擬授業と検討会	課題を提出③	
第7回 内容	学習指導要領「快適な住まいと衣服」を読む	小学校家庭科の指導内容 (3)快適な住まいと衣服	課題をまとめる	
第8回 内容	予習(製作に役立つ物の製作の指導について)	小学校家庭科の指導内容 (4)快適な住まいと衣服の指導案作成	課題を提出④	
第9回 内容	教具作成に必要な材料の用意	児童の学びを助ける補助教具やプリントの作成	課題を提出⑤	
第10回 内容	予習(プリント)	模擬授業と検討会	課題を提出⑥	
第11回 内容	予習(テキスト4章④)	小学校家庭科の評価	課題をまとめる	
第12回 内容	予習(テキスト3章⑤のP58～教材づくり)	小学校家庭科の教材研究の方法	課題をまとめる	
第13回 内容	予習(テキスト3章⑤のP54科学的な教材)	小学校家庭科の指導内容 (5)生活を科学する視点	課題をまとめる	
第14回 内容	学習指導要領「家庭生活と家族」を読む	小学校家庭科の指導内容 (6)家庭生活と家族・身近な消費生活と環境	課題をまとめる	
第15回 内容	家庭科の授業展開の課題をまとめる	家庭科を取り巻く課題・学習指導案の作成を振り返って	課題をまとめる	

* 評価方法

学習用具の準備、課題のまとめ、テスト等、総合して評価する。

* 評価基準

学習用具の準備(10)、課題のまとめ・作品(30)、テスト(60)

* テキスト

授業力UP家庭科の授業 日本標準、小学校学習指導要領解説 家庭編 文部省、小学校教科書「わたしたちの家庭科」開隆堂

* 参考文献

小学校「家庭科」の教師用指導書、食品分析表

[授業概要・到達目標]

体育科の目標、領域内容等を理解し、学校教育及びその周辺領域において、子ども一人ひとりの健康と生涯に渡って運動・スポーツとの関わりをもつことのできる資質を養うことを念頭に置き、学習指導に必要な資質・技能の習得を目指す。

[授業のねらい・方法]

小学校体育科のカリキュラム編成と学習指導について、その理論と方法ならびに教科の指導方法について学ぶ。
また、生涯を通して運動・スポーツと親しむための基礎的能力、資質の習得を目的とし、体育・スポーツ活動に伴う集団や自然などの環境を整備することができることを目指し、体育の理論と指導実践について学ぶ。

[授業形態](履修条件)

理論と実技を実施する。
小学校教諭二種免許取得を目指すもの。

区分	事前学習	授業内容	事後学習	参考文献
第1回 内容	シラバス、指導要領の概観	オリエンテーション:体育教育という考え方(小学校学習指導要領の目標、内容等)	学習内容のまとめ	小学校学習指導要領解説 体育編
第2回 内容	小学校学習指導要領解説体育編を読む	体育の概念:体育の教育的意義	学習内容のまとめ	小学校学習指導要領解説 体育編
第3回 内容	配布資料の概観	体育の歴史(1):戦前の体育	学習内容のまとめ	小学校 体育科授業研究
第4回 内容	配布資料の概観	体育の理論と実践	学習内容のまとめ	小学校 体育科授業研究
第5回 内容	配布資料の概観	体育の目標:社会からの要請としての体育	学習内容のまとめ 課題レポートの作成	小学校 体育科授業研究
第6回 内容	課題の作成および配布資料の概観	体育の学習過程:運動領域と保健領域(低、中、高学年の学習過程の構成とつながり)	学習内容のまとめ	小学校 体育科授業研究
第7回 内容	配布資料の概観	体育の学習形態:技能と態度	学習内容のまとめ	適宜紹介
第8回 内容	配布資料の概観	体育の学習とその指導:体育で教えられることとは	学習内容のまとめ	適宜紹介
第9回 内容	配布資料の概観	体育の評価:体育で評価されるものとは	学習内容のまとめ	適宜紹介
第10回 内容	配布資料の概観	体育のカリキュラム:体育のカリキュラムのあり方と教材づくり(運動の特性と分類)	学習内容のまとめ	適宜紹介
第11回 内容	指導計画の作成	単元計画の作成(1):低学年への指導(各種運動遊び、ゲームなど)	指導計画の作成・提出	適宜紹介
第12回 内容	指導計画の作成	単元計画の作成(2):中学年への指導(ゲーム、各種スポーツの応用)	指導計画の作成・提出	適宜紹介
第13回 内容	指導計画の作成	単元計画の作成(3):高学年への指導(体づくり運動、各種スポーツの活用)	指導計画の作成・提出	適宜紹介
第14回 内容	配布資料の概観	授業の実際:授業の分析、評価	学習内容のまとめ	適宜紹介
第15回 内容	配布資料の概観	まとめ	学習内容のまとめ	適宜紹介

* 評価方法

試験および、グループ活動などによる提出物(レポート、計画など)により、総合的に評価する。

* 評価基準

出席状況10%、授業態度20%、提出物20%、試験50%

* テキスト

文部科学省、『小学校学習指導要領解説 体育編』2008

* 参考文献

立木正、菊幸一、松田恵示、新開谷央編『小学校 体育科授業研究』教育出版、2009
松田恵示、山本俊彦『「かかわり」を大切にしたい小学校体育の365日』教育出版、2001

[授業概要・到達目標]

人間であること、よりよく生きる心を育てることへの道徳教育の本質を明確にして、その目的・内容・方法に関する考察を深める。

[授業のねらい・方法]

歴史上の道徳の変遷に注目しつつ、不易と流行とを明確にするとともに、規範性を重んじる儒教的な道徳観と、柔軟性に富む仏教的な道徳観、主体性を重視する西洋的な道徳観について考察を深める。

日本人の心の持ち方は基本的に情緒的であり、知的な判断力よりも道徳的な心情に傾く面のあることを自覚し、それらを総合的な観点から、人間としての在り方生き方について考えていくようにする。

[授業形態] (履修条件)

基本的には一斉講義方式が主流となる。1年次生対象の選択科目であることから、将来に向けて備える熱心な受講を期待している。

[各回の授業計画(内容)]

区分	事前学習	授業内容	事後学習	参考文献
第1回 内容	小学校及び中学校指導書道徳編を一通り読んでおくこと。	幼児・児童・生徒の道徳性の発達と道徳教育の基本的な在り方について考える	新聞等で関連記事を探しておくこと。	授業の中で上げるものとする。
第2回 内容	同上	我が国の社会状況にかかわる道徳教育の基本的な在り方について考える。	同上	同上
第3回 内容	同上	道徳教育の目標と道徳の時間にかかわる目標とについて考える。	プリント等の点検をし、復習しておくこと。	同上
第4回 内容	同上	道徳教育の内容の捉え方と取り扱い方、内容構成の視点について考える。	同上	同上
第5回 内容	同上	道徳の時間の内容項目の配列及び指導上の取り扱い方等について考える。	同上	同上
第6回 内容	幼稚園教育指導書を一通り読んでおくこと。	幼稚園、保育園等における道徳にかかわる指導との連携について考える。	同上	同上
第7回 内容	小学校及び中学校指導書道徳編を一通り読んでおくこと。	道徳教育の全体計画と年間指導計画、学級での道徳指導について考える。	同上	同上
第8回 内容	同上	道徳の学習指導計画の作成について考える。	同上	同上
第9回 内容	同上	発達状況に応じ内面的な自覚を促すための指導の手立てについて考える。	同上	同上
第10回 内容	同上	道徳の時間における資料の開発及び活用について考える。	同上	同上
第11回 内容	同上	各教科や特別活動の時間における道徳教育の指導の工夫について考える。	同上	同上
第12回 内容	同上	総合的な学習の時間や日常生活場面における道徳の指導について考える。	同上	同上
第13回 内容	同上	心のノートの作成と活用の仕方について考える。	同上	同上
第14回 内容	同上	道徳の指導計画と指導方法に関する評価について考える。	同上	同上
第15回 内容	これまで学んできたことをまとめておくこと。	家庭や地域社会における連携・協力体制について考える。 まとめ。	同上	同上

* 評価方法

出席状況や授業への参加姿勢をも考慮して総合的に評価を行う。

* 評価基準

授業目的の達成度を基準とするが、授業参加・授業態度をも尊重する。

(授業参加20%、授業態度20%、ワークシート10%、試験50%)

* テキスト

* 参考文献

指定はしない。道徳教育に関して興味や関心を覚えたものを読むとよい。

特別活動の研究

半期 2単位 選択 受講対象学年2年次

森 重 俊 幸

[授業概要・到達目標]

さまざまな活動を通して“生きる力”を身につける特別活動の指導のあり方」をテーマとして、児童にいかにつけていくか、望ましい集団活動とどのようなことなのかを中心課題に据え、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図る方策、協力してよりよい生活を構築するために主体的・実践的な態度をいかに育てるかに係る特別活動指導のあり方の習得をめざす。

[授業のねらい・方法]

好ましい人間関係の醸成、基本的なモラルや社会生活上のルール習得、協力してよりよい生活を構築しようとする自主的・実践的な態度の育成などを重視する指導のあり方を探求するため、(1)学級活動、(2)児童会活動、(3)クラブ活動、(4)学校行事の見直しと精選、(5)家庭や地域などとの連携の視点で今日的課題を整理し、その課題解決のための方策について講義のみならず、資料検討・視聴覚教材・ディスカッション・フィールドワークなどを取り入れた授業を行う。

[授業形態](履修条件)

講義形式で行うが、学習内容によってはディスカッションなどの演習的要素を盛り込んだ授業を行う。

履修にあたっては、自ら学ぶ姿勢を大切に、教育への意欲と課題意識をもって授業に臨んでほしい。

遅刻・私語・授業中の携帯電話使用は厳禁とする。

[各回の授業計画(内容)]

区分	事前学習	授業内容	事後学習	参考文献
第1回 内容	シラバスを精読する	オリエンテーション、特別活動の歴史的経緯ならびに理論と講義	授業内容をまとめる	適宜紹介する
第2回 内容	小学校学習指導要領を読む	小学校学習指導要領研究① (目標・内容・基本的性格)	授業内容をまとめる	〃
第3回 内容	小学校学習指導要領を読む	小学校学習指導要領研究② (教育的意義他)	授業内容をまとめる	〃
第4回 内容	前時の課題をまとめる	集団活動の原理 特別活動の全体計画 特別活動の授業時数	授業内容をまとめる レポート作成	〃
第5回 内容	前時の課題をまとめる	学級活動①	授業内容をまとめる 提示された課題をまとめる	〃
第6回 内容	前時の課題をまとめる	学級活動②	授業内容をまとめる 提示された課題をまとめる	〃
第7回 内容	前時の課題をまとめる	学級活動指導のあり方①	授業内容をまとめる	〃
第8回 内容	前時の課題をまとめる	学級活動指導のあり方②	授業内容をまとめる	〃
第9回 内容	前時の課題をまとめる	児童会活動、クラブ活動、学校行事、 学級活動の指導案作成①	授業内容をまとめる 指導案作成	〃
第10回 内容	前時の課題をまとめる	学級活動の指導案作成①	指導案作成	〃
第11回 内容	指導案吟味	学級活動の指導案作成②	指導案作成	〃
第12回 内容	指導案吟味	模擬授業①	成果と課題のまとめ	〃
第13回 内容	前時の課題をまとめる	模擬授業②	成果と課題のまとめ	〃
第14回 内容	前時の課題をまとめる	模擬授業③	成果と課題のまとめ	〃
第15回 内容	これまでの学習内容をまとめる	・家庭・地域・関係諸機関との連携のあり方、 ・道徳教育・生徒指導・総合的な学習の時間 との関連・まとめ		〃

* 評価方法

試験、学習指導案、レポート、日常の学習状況等を総合的に評価する。

* 評価基準

試験50点、学習指導案30、レポート20点

* テキスト

「小学校学習指導要領解説:特別活動編」、その他必要に応じて資料プリントを配布する。

* 参考文献

参考文献等は、授業中に適宜紹介する。

[授業概要・到達目標]

現在の教育状況を踏まえ、教員を目指す受講生を前提に、教育方法の理論を理解し、その理論を踏まえて、最適な教育方法を選択する基礎的な知識を得ることを目標とする。

[授業のねらい・方法]

教育の方法や技術の知識を、実践に役立てるための基礎的知識として、史的経過を踏まえつつ、教育方法の意義を知るとともに、今日的課題となっている学習方式を理解したり情報活用等について理解する。

[授業形態](履修条件)

教科書および補助的なレジュメに基づき講義形式ですすめる。

[各回の授業計画(内容)]

区分	事前学習	授業内容	事後学習	参考文献
第1回 内容	教科書の目次の確認	オリエンテーション	課題をまとめる	
第2回 内容	レポートの確認	授業とは何か	グループワーク 何が話し合われたか見	直す
第3回 内容	見直しをもとに授業を考える	授業のあり方と方法	グループワークとの比較	
第4回 内容	授業の在り方に沿った形態を	考える	授業の形態 さまざまな授業形態を	確認する
第5回 内容	授業を支える理論を教科書か	ら読み取る	授業を支える教育方法 の基礎理論	さまざまな基礎理論確認
第6回 内容	現代的な動向を知る	教育方法の新たな見方・考え方	現代的な動向の利点・ 欠点を考える	
第7回 内容	自分の考える学力を確認する	学力と学習の自己責任	学力とはなにか、見直 す	
第8回 内容	学習にとってコミュニケーション	は、どうかかわるか考える	学びとコミュニケーション	どんなコミュニケーション
第9回 内容	どんな授業がふさわしいか	柔軟な授業を創る	授業の多様性を考える	
第10回 内容	教育課程、指導計画といった用	語のあらかじめチェックしておく	学校教育の基となる教 育課程・指導計画。保育	所保育指針・幼稚園教育要
第11回 内容	自分の考える評価を確認する	教育評価	評価は何のためにする のか確認する	
第12回 内容	教育メディアの効果を考える	教育メディアと環境1	教育メディアの歴史 教育メディアの歴史を	整理する
第13回 内容	今の教育メディアを予想する	教育メディアと環境2	学習環境としての教育 メディア	これからの教育メディア
第14回 内容	現場の教師はどうして学ぶか	考える	授業から学ぶ教師 職業としての教師の特	質を考える
第15回 内容	第1回からの授業の振り返りと	して、教育方法とは何か自分なりの定義を	考える 教育方法とは何か	本授業を自分なりに整理

* 評価方法

授業への参加度、レポートの内容、定期試験から総合的に評価

* 評価基準

授業への参加度・レポート30% 定期試験結果70%

* テキスト

教育の方法と技術 (西之園晴夫、宮寺晃夫編著 ミネルヴァ書房)

* 参考文献

教育の方法と技術 四訂版 (秋田喜代美ほか著 学芸図書)

教育方法・技術の伝統と革新 (多田俊文編著 八千代出版)

[授業概要・到達目標]

「保育内容」を構造的にとらえた上で、保育内容をいかに構成し展開していくかを理解し、保育実践力を養うことを目標とする。

[授業のねらい・方法]

保育内容を総合的な視野でとらえ、保育内容総論とは何かを歴史的展開を講義し、幼稚園や保育所の役割について考えるとともに、保育内容を学ぶ。更に、遊びの本質や様々な保育課題についても考察を深め、「保育の実践」を視点に講義する。

[授業形態] (履修条件)

演習形式で実施する。主体的に学ぶ姿勢のもと、保育への課題意識をもって授業に臨むこと。

[各回の授業計画(内容)]

区分	事前学習	授業内容	事後学習	参考文献
第1回 内容	シラバスを熟読する	オリエンテーション	「保育内容総論」の授業内容を把握する	適宜紹介する
第2回 内容	「保育すること」について考察する	保育の場(幼稚園・保育所)	保育の場のあり方について再考する	同上
第3回 内容	「保育内容」について考察する	保育内容の概要・領域	保育内容の概要・領域をまとめる	同上
第4回 内容	日本の社会変化を調べる	保育内容の変遷	社会背景と保育内容の変遷との関連を再考する	同上
第5回 内容	幼稚園教育要領を熟読する	保育内容と幼稚園教育要領	幼稚園教育要領から幼児教育・保育を考察する	同上
第6回 内容	保育所保育指針を熟読する	保育内容と保育所保育指針	保育所保育指針から幼児教育・保育を考察する	同上
第7回 内容	「保育環境」とは何かを考察する	保育内容と保育環境	「居場所(保育環境)」について再考する	同上
第8回 内容	「遊び」をイメージする	保育内容と「遊び」(1) 遊びの概念	「遊び」とは何かを理解する	同上
第9回 内容	幼児期の「遊び」の意義を考える	保育内容と「遊び」(2) 生活と遊び	保育における「遊び」を再考する	同上
第10回 内容	保育計画の意義を考える	保育内容と保育計画	保育計画をまとめる	同上
第11回 内容	「応答保育」をイメージする	応答的保育	応答保育について再考する	同上
第12回 内容	課題のある子への配慮について考える	課題のある子の保育	課題のある子への配慮を理解する	同上
第13回 内容	総合的な活動とは何かを考える	総合的な活動の展開	総合的な活動をまとめる	同上
第14回 内容	「保育者(理想とする保育者像)」について考察する	保育者考察	保育者の役割を再考する	同上
第15回 内容	授業内容を整理する	授業のまとめ及び試験	授業内容を総復習する	

* **評価方法** 定期試験、課題・発表を総合的に評価

* **評価基準** 定期試験85%、課題・発表15%

* **テキスト** 授業時にオリジナルプリントを配布。

『幼稚園教育要領・保育所保育指針<原本>』文部科学省・厚生労働省 チャイルド本社

* **参考文献** 『遊びを中心とした保育』河邊貴子著 萌林書林

【授業概要・到達目標】

幼稚園や保育所(園)において、幼児が自ら身体を動かして活動に取り組み、心身ともに健康で安全な生活を営む力を獲得していくためには、どのような指導、援助を行ったらよいのか5領域の一つである《健康》を通して学んでいく。

【授業のねらい・方法】

人間の顔が一人ひとり違うように、性格も体格も身体能力もそれぞれ個人差がある。それらを考慮した言葉かけ、援助はどのようにしたらよいのか、またどうしたら幼児が自ら興味を持って能動的に活動してくれるのか等、実践的活動を通して理解を深める。

【授業形態】(履修条件)

基本的には実技を行うが、内容によっては講義形式もある。実技に相応しい服装、髪型であること。見学することが分かっていたら見学届けを提出し、その時間に行った内容をまとめ、感想を書いて提出する。

【各回の授業計画(内容)】

区分	事前学習	授業内容	事後学習	参考文献
第1回 内容		オリエンテーション 授業の進め方 5領域の把握 いろいろなあそび	授業内容の把握 健康領域の理解	
第2回 内容	動物や花等の形や特徴をつかむ	いろいろなあそび ロープアート	思い通りの絵が描けたかどうかを考察する	
第3回 内容	図案を考えておく	いろいろなあそび ロープアート	思い通りの絵が描けたかどうかを考察する	
第4回 内容	図案を考えておく	いろいろなあそび ロープアート	思い通りの絵が描けたかどうかを考察する	
第5回 内容	グループで図案を考えておく	いろいろなあそび ロープアート	テーマに沿った絵が描けていたかを考察する	
第6回 内容	全員で描くテーマを決めておく	いろいろなあそび ロープアート	テーマに沿った絵が描けていたかを考察する	
第7回 内容	わらべうたを調べておく	いろいろなあそび 歌あそび	歌いながら正しい動作が出来たか確認する	
第8回 内容	手具・器具を使って出来るあそびを考えておく	いろいろなあそび 手具・器具を使ったあそび	あそびが楽しく出来たかを確認し、次に活かす	
第9回 内容	手具・器具を使って出来るあそびを考えておく	いろいろなあそび 手具・器具を使ったあそび	あそびが楽しく出来たかを確認し、次に活かす	
第10回 内容	手具・器具を使って出来る遊びを考えておく	いろいろなあそび 手具・器具を使ったあそび	あそびが楽しく出来たかを確認し、次に活かす	
第11回 内容	保育内容の5領域について調べておく	他の領域と健康との関係	各領域との関連性を確認する	
第12回 内容	幼児期の運動能力を家族に聞いておく	幼児期の発育・発達	発達の個人差を確認	
第13回 内容	幼児期に体験したあそびを調べておく	あそびと生活習慣 健康と生活リズム	地域差があるのかを確認する	
第14回 内容	年中行事を調べておく	自然とのふれあい 年中行事	自宅で行っている行事の確認	
第15回 内容		まとめ		

* 評価方法

- ・ 授業内容をきちんと理解し実践できているかどうか、グループでの作業・発表の参加度を見る。
- ・ 提出物が期限内に出されていること。

* 評価基準

テスト70点、授業内容の理解度10点、提出物10点、グループ作業・発表10点

* テキスト

なし

* 参考文献

保育内容(健康)
 幼児期の体育指導
 幼児の運動あそびの新しい進め方

[授業概要・到達目標]

- ・「幼稚園教育要領」、「保育所保育指針」に示される領域「言葉」を理解する。
- ・乳幼児の言葉の発達の基本を理解する。
- ・乳幼児の言葉の力を育てる環境構成の在り方や保育者の指導・援助について理解する。
- ・言葉に関する教材研究を行い、実践的指導力を養う。

[授業のねらい・方法]

乳幼児の言葉の発達を具体的な乳幼児の姿を通して理解していきながら、領域「言葉」のねらいと内容を学び、保育所や幼稚園において乳幼児の言葉を育てていく人的環境としての保育者の指導・援助のあり方について考えていく。また、絵本や紙芝居の読み聞かせなど、日々の保育実践の中で子どもの言葉をより豊かにするために必要な教材や保育技術について理解を深めていく。

[授業形態] (履修条件)

幼稚園教育要領、保育所保育指針に示されている、「環境を通して行う保育(教育)」に関する基本的な考え方を理解しておいてください。

[各回の授業計画(内容)]

区分	事前学習	授業内容	事後学習	参考文献
第1回 内容		“保育内容の研究(言葉)”で何を学ぶのか?		
第2回 内容	幼稚園教育要領解説pp22-63 保育所保育指針解説書pp21-42	保育の基本と領域「言葉」(1) -環境を通して行う教育(保育)とは何か-	授業中に事後学習 の内容を提示する	事例で学ぶ保育内容 領域言葉 pp12-32
第3回 内容	幼稚園教育要領解説pp138-157 保育所保育指針解説書pp111-120	保育の基本と領域「言葉」(2) -領域(言葉)のねらいと内容-	授業中に事後学習 の内容を提示する	事例で学ぶ保育内容 領域言葉 pp12-32 保育内容・言葉 pp1-23
第4回 内容	保育所保育指針解説書pp46-70	乳幼児の言葉の発達(1) -言葉の特性と機能-	授業中に事後学習 の内容を提示する	事例で学ぶ保育内容 領域言葉 pp34-50 保育内容・言葉 pp25-39
第5回 内容	保育所保育指針解説書pp46-70	乳幼児の言葉の発達(2) -乳児期の言葉の発達-	授業中に事後学習 の内容を提示する	事例で学ぶ保育内容 領域言葉 pp34-50 保育内容・言葉 pp25-39
第6回 内容	保育所保育指針解説書pp46-70	乳幼児の言葉の発達(3) -幼児期の言葉の発達-	授業中に事後学習 の内容を提示する	事例で学ぶ保育内容 領域言葉 pp34-50 保育内容・言葉 pp25-39
第7回 内容	幼稚園教育要領解説pp175-189	乳幼児の言葉の発達と保育者の指導・援助(1) -乳幼児の言葉の発達と環境-	授業中に事後学習 の内容を提示する	事例で学ぶ保育内容 領域言葉 Pp52-170 保育内容・言葉 pp41-57
第8回 内容	幼稚園教育要領解説pp175-189	乳幼児の言葉の発達と保育者の指導・援助(2) -乳幼児の言葉の発達と保育者-	授業中に事後学習 の内容を提示する	事例で学ぶ保育内容 領域言葉 Pp52-170 保育内容・言葉 pp41-57
第9回 内容	幼稚園教育要領解説pp175-189	乳幼児の言葉の発達と保育者の指導・援助(2) -応答的な保育者の言葉かけ-	授業中に事後学習 の内容を提示する	保育者と母親のための 応答的 保育入門
第10回 内容	自己紹介を考える	お話をする(1)	授業中に事後学習 の内容を提示する	授業中に示す
第11回 内容	“お話”を考える	お話をする(2)	授業中に事後学習 の内容を提示する	授業中に示す
第12回 内容	乳幼児の言葉の力をはぐくむ教材として何があるのかを考える	乳幼児の言葉の力をはぐくむ教材研究(1) -発表内容の決定-	発表練習	保育内容・言葉 pp75-182
第13回 内容	教材研究	乳幼児の言葉の力をはぐくむ教材研究(2) -発表内容の検討-	発表練習	保育内容・言葉 pp75-182
第14回 内容	発表準備	乳幼児の言葉の力をはぐくむ教材研究(3) -発表-	まとめレポート 課題の提示	保育内容・言葉 pp75-182
第15回 内容	これまでの授業内容のまとめ をする	まとめ		

* 評価方法

試験、レポートによる総合的な評価

* 評価基準

試験(80%)、レポート(20%)によって成績を決定する。

* テキスト

文部科学省(著) 『幼稚園教育要領解説』 フレーバル館

厚生労働省(著) 『保育所保育指針解説』 フレーバル館

* 参考文献

無藤隆監修 『事例で学ぶ保育内容 領域言葉』 萌文書林

岸井勇雄・無藤隆・柴崎正行監修 『保育内容・言葉(保育・教育ネオシリーズ)』 同文書院

宮原和子・宮原英種編著 『保育者と母親のための 応答的保育入門』 蒼丘書林

[授業概要・到達目標]

本科目では、保育所保育指針と幼稚園教育要領が示す保育内容の5領域のひとつである「人間関係」について理解を深めることを目的とする。保育現場での実際の指導方法、親へのかかわり方、社会とのかかわりについて「人間関係」の視点より考察する。子どもが社会の中で育つというその育ちの過程を保育者の目から理解し、子ども自身が「人とのかかわる力」を育てるために保育者が果たすべき役割を自覚する。

[授業のねらい・方法]

講義、ディスカッション、演習、ビデオ観察をとおして行う。また様々な保育場面の事例を研究し発表する。

[授業形態] (履修条件)

講義とグループディスカッション演習を通して積極的に授業に参加する。適宜ミニレポート、ミニテスト、発表があります。

[各回の授業計画(内容)]

区分	事前学習	授業内容	事後学習	参考文献
第1回 内容	テキストを熟読	領域「人間関係」の内容	(学んだことを整理し、疑問点や質問事項を整理することによってさらなる考えを深め次の授業にそなえる、以下同様)	『幼稚園教育要領』
第2回 内容	テキストを熟読	人間関係に着目した保育		『保育所保育指針』
第3回 内容		人間関係に着目した様々な保育		
第4回 内容	テキストを熟読	人とのかかわりの発達について		
第5回 内容		人とのかかわりの発達について	↓	↓
第6回 内容	テキストを熟読	幼児の園生活と人間関係		
第7回 内容		幼児の園生活と人間関係		
第8回 内容	テキストを熟読	保育と家庭、地域とのかかわり	↓	↓
第9回 内容	関連の新聞記事を読み持参発表準備	現代の保育・教育における人間関係の問題点プレゼンテーション		
第10回 内容	関連の新聞記事を読み持参発表準備	現代の保育・教育における人間関係の問題点プレゼンテーション		
第11回 内容	テキスト、資料を熟読	保護者との人間関係	↓	↓
第12回 内容		気になる子どもを支える人間関係		
第13回 内容	事例研究	保育者の役割についての考察	自分なりの考えをまとめ、レポートを提出	
第14回 内容	事例研究	保育者の役割についての考察		↓
第15回 内容		まとめ・今後の課題	↓	

* 評価方法

人とのかかわりを育てる人間関係に関する基本的な知識と技術についてレポート、ミニ試験、授業態度、討論参加によって総合評価する

* 評価基準

授業参加態度(20点)・レポート(20点)・発表(20点)・テスト(40点)の総合評価

* テキスト

榎沢良彦・入江礼子「保育内容 人間関係」建帛社、2009

* 参考文献

『幼稚園教育要領』『保育所保育指針』

[授業概要・到達目標]

幼稚園教育要領および保育所保育指針の領域「環境」のねらいと内容を理解する。子どもと環境とのかかわりについて具体的な活動や事例を通して学び、環境構成や援助の在り方について保育者の役割を考究する。

[授業のねらい・方法]

自らが自然環境にかかわり、発見や自然の変化を楽しむことから豊かな感性を磨くよう努める。五感を通じて子どもを取り巻く環境の重要性について考えられるようにする。自らの体験を保育に応用していけるような態度を身につける。

[授業形態] (履修条件)

テキストおよび視聴覚教材(映像)を使用した講義形式で行う。

適宜、グループワーク・ディスカッション・実践活動・等も行う。

[各回の授業計画(内容)]

区分	事前学習	授業内容	事後学習	参考文献
第1回 内容	シラバスを読んでおく	オリエンテーション ヒトと環境	授業内容の復習	幼稚園教育要領 保育所保育指針
第2回 内容	テキストを読んでおく	保育の基本と保育内容「環境」	授業内容の復習	
第3回 内容	同上	領域「環境」の位置づけ	授業内容の復習	
第4回 内容	同上	子どもと環境のかかわり①	授業内容の復習	
第5回 内容	同上	子どもと環境のかかわり②	授業内容の復習	
第6回 内容	同上	子どもと環境のかかわり③	授業内容の復習	
第7回 内容	同上	園庭の自然や遊具とのかかわり	授業内容の復習	
第8回 内容	同上	室内の遊具・教材・設備とのかかわり	授業内容の復習	
第9回 内容	同上	飼育・栽培・園外保育	授業内容の復習	
第10回 内容	同上	領域「環境」と指導計画	授業内容の復習	
第11回 内容	同上	領域「環境」と保育方法	授業内容の復習	
第12回 内容	同上	領域「環境」と保育の実際①	授業内容の復習	
第13回 内容	同上	領域「環境」と保育の実際②	授業内容の復習	
第14回 内容	同上	保育内容「環境」の変遷	授業内容の復習	
第15回 内容	同上	まとめ	授業内容の復習	

* 評価方法

授業態度、授業内レポート、定期試験

* 評価基準

授業態度20点、授業内レポート20点、試験60点

* テキスト

演習 保育内容 環境(健帛社 柴崎正行編著)

* 参考文献

幼稚園教育要領・保育所保育指針、そのほか必要に応じて紹介・資料配布

[授業概要・到達目標]

幼稚園・保育園の教員になるためには、幅広い知識と表現力を身につけなければなりません。この音楽表現の時間は、正しい発声法を学び豊かな声量を得ること。抑揚（支え方）・歌詞を理解し顔の表情、身体全体でリズム遊び等を、自由に表現出来るように実践表現します。また採用試験時にすぐ採用に結びつくように、音楽表現の問題にも取り組みます。

[授業のねらい・方法]

授業時には腹筋運動等、身体表現を行います。そして、長時間歌い続けても疲れない発声法を身につけ、どの園でも通用する子供の歌を覚え、手遊び身体全体で表現する遊び歌を実践します。またリズムの構造を理解し身体や楽器を使い演奏することにより楽譜を読めるようにします。

[授業形態] (履修条件)

採用試験に向けて、試験問題と実技試験にも対応出来るように解説と模擬授業を行う。

履修条件：幼児教育(幼・保)に携わる者

[各回の授業計画(内容)]

区分	事前学習	授業内容	事後学習	参考文献
第1回 内容	その都度指示	指導要領について説明	その都度指示	教科書・資料
第2回 内容	同上	呼吸法のトレーニング	同上	同上
第3回 内容	同上	母音の発声法と実践	同上	コンコーネ50番
第4回 内容	同上	正確な音程とリズムを指導	同上	コールユーブングエン
第5回 内容	同上	遊び歌の指導と実践	同上	教科書・資料
第6回 内容	同上	各自へ課題を与え歌唱	同上	同上
第7回 内容	同上	遊び歌の模擬授業	同上	同上
第8回 内容	同上	模擬授業・グループ授業	同上	同上
第9回 内容	同上	模擬授業・グループ授業	同上	同上
第10回 内容	同上	模擬授業・グループ授業	同上	同上
第11回 内容	同上	模擬授業・グループ授業 模擬授業の改善点発表及び合奏指導(打楽器)	同上	同上
第12回 内容	同上	音符を使ったリズム遊び、打楽器(マーチ合奏)	同上	同上
第13回 内容	同上	ボディパーカッション及びハンドベル合奏指導	同上	同上
第14回 内容	同上	リズム聴音及び歌唱	同上	同上
第15回 内容	同上	まとめ	同上	同上

* 評価方法

学習意欲・各技能試験・期末試験

* 評価基準

表現豊かに身体運動ができ、正確な音程とリズムを保ちながら歌唱すること

* テキスト

うたっておどっぺおもちゃ箱その1とその2、教育芸術社、コールユーブングエン、全音楽譜出版社

* 参考文献

学生の進捗必要性を見て資料作成配布する。

[授業概要・到達目標]

障害児保育に関する基本的な知識と保育の方法の習得をめざす

[授業のねらい・方法]

障害児保育を支える理念を深め、併せて障害児保育と一般の保育との連続性に気付かせ、一人一人の発達上の課題に対して、特別な保育ニーズと支援を明らかにする観点から、さまざまな障害についての理解を促し、実践的な観点から具体的個別的援助の概略と保育内容について学習する。

[授業形態] (履修条件)

基本的には講義形式が中心となるが、時代的課題や事例を通じたディスカッションや具体的な援助技術も取り入れる

[各回の授業計画(内容)]

区分	事前学習	授業内容	事後学習	参考文献
第1回 内容		障害児保育を支える理念		
第2回 内容	参考文献を読んでおく	障害種別の理解と保育 障害児保育を支える理念	統合保育の受け止め方について	光とともに①～④ 戸部けい子著 秋田書店
第3回 内容		障害種別の理解と保育 障害児を取り巻く保育の現状		
第4回 内容		障害種別の理解と保育 保育の現状と課題	保育所保育指針と幼稚園指導要領における障害児保育	
第5回 内容	参考文献を読んでおく	障害種別の理解と保育 発達障害一1		トビオはADHD
第6回 内容	参考文献を読んでおく	障害種別の理解と保育 発達障害一2		ふしぎだね自閉症のおともだち(ミネルヴァ書房)
第7回 内容		障害のある子の発達指導	気になる行動から読み解く	
第8回 内容		個に応じた支援		
第9回 内容		より多くの支援や手厚いかかわりを必要とする子ども		保育の根っこにこだわろう4(全社協)
第10回 内容		障害の種類とその特徴	症例特徴について	
第11回 内容	参考文献を読んでおく	家族に対する支援	家族が保育の対象であることを理解する	
第12回 内容		障害児を持つ親の立ち直り過程 障害のない子の親の理解と協力 専門機関とのより良い連携	障害の受け入れを段階別に理解する	
第13回 内容		障害のある子の行動と生活の指導	チームアプローチについて	
第14回 内容		障害児と保育者の倫理		
第15回 内容		まとめ		

* 評価方法

障害のある子どもがよりよく生きることを実現させるための保育の知識と技術の習得について総合評価をする

* 評価基準

レポート20点、試験80点

* テキスト

毎回プリントを配布する

* 参考文献

保育の根っこにこだわろう4(全社協) 光とともに①～⑤(秋田書店) ふしぎだね自閉症のおともだち(ミネルヴァ書房)

[授業概要・到達目標]

すべての児童の個性の伸長を図りながら、同時に社会的な資質や能力・態度を育成し、さらに、将来において社会的に自己実現できる資質・能力を形成していく生徒指導のあり方の習得をめざす。さらに、進路指導の歴史ならびに諸理論に加えて、現状と課題を理解すると共に、キャリア教育の視点を捉えたよりよい進路指導のあり方を習得する。

[授業のねらい・方法]

すべての児童の自己実現に向けて教師として果たす役割は何か、また、「生きる力」の育成を生徒指導・進路指導の領域でどのようにつけるべきかについて、指導理論・方法論からアプローチする。その際、キャリア教育の視点を十分ふまえて今日的課題を整理し、その課題解決のための方策について、講義のみならず資料検討・視聴覚教材・ディスカッション・フィールドワークなどを効果的に取り入れた授業を行う。

[授業形態] (履修条件)

講義形式で行うが、学習内容によってはディスカッション・フィールドワークなどの演習的要素を盛り込んだ授業を行う。

履修にあたっては、自ら学ぶ姿勢を大切に、教育への意欲と課題意識をもって授業に臨んでほしい。

遅刻・私語・授業中の携帯電話使用は厳禁とする。

[各回の授業計画(内容)]

区分	事前学習	授業内容	事後学習	参考文献
第1回 内容	シラバスを精読する	オリエンテーション	授業内容をまとめる	適宜紹介する
第2回 内容	小学校学習指導要領を読む	小学校学習指導要領総則研究、生徒指導の意義、目標、理論	授業内容をまとめる	"
第3回 内容	授業テーマについて調べる	生徒指導の諸課題と解決の方策(いじめ)①	授業内容をまとめる レポート作成	"
第4回 内容	前時の課題をまとめる	生徒指導の諸課題と解決の方策(いじめ)②	授業内容をまとめる	"
第5回 内容	前時の課題をまとめる	生徒指導の諸課題と解決の方策(不登校)①	授業内容をまとめる	"
第6回 内容	レポート作成	生徒指導の諸課題と解決の方策(不登校)② (好ましい人間関係づくりと体罰)	授業内容をまとめる レポート提出	"
第7回 内容	前時の課題をまとめる	生徒指導の諸課題と解決の方策(好ましい人間関係づくりと体罰)	授業内容をまとめる	"
第8回 内容	授業テーマについて調べる	児童・生徒理解①	授業内容をまとめる	"
第9回 内容	授業テーマについて調べる	児童・生徒理解②	授業内容をまとめる	"
第10回 内容	授業テーマについて調べる	生徒指導と学級経営、教育相談ならびに家庭・地域・関係諸機関との連携	授業内容をまとめる	"
第11回 内容	授業テーマについて調べる	進路指導の歴史ならびに理論と意義	授業内容をまとめる	"
第12回 内容	授業テーマについて調べる	キャリア教育の進め方①	授業内容をまとめる	"
第13回 内容	授業テーマについて調べる	キャリア教育の進め方②	授業内容をまとめる 課題を整理する	"
第14回 内容	前時の課題をまとめる	法規と教育で考える生徒指導(事例研究)	授業内容をまとめる	"
第15回 内容	学習内容の総復習	まとめ		"

* 評価方法

試験、レポート、日常の学習状況等を総合的に評価する。

* 評価基準

試験60点、レポート40点

* テキスト

「小学校学習指導要領解説:総則編」、その他必要に応じて資料プリントを配布する。

* 参考文献

参考文献等は、授業中に適宜紹介する。

[授業概要・到達目標]

一人ひとりの幼児・児童の発達と教育にかかわる諸問題をめぐって、教師が、本人及び保護者などに必要な心理・教育的援助を行うために必要な知識と技術の習得を目指す。

[授業のねらい・方法]

理解を深めるため、VTR資料の視聴や体験学習等を多く取り入れる。漫然と、板書のみを写したり、VTRを視聴したりするのではなく、自分なりのメモを取りながら内容を整理・理解しておくこと。

[授業形態] (履修条件)

基本的には講義形式が中心となるが、大小グループによるワークやディスカッションを取り入れる。クラス指定。

[各回の授業計画(内容)]

区分	事前学習	授業内容	事後学習	参考文献
第1回 内容	教員や保育士として、保護者の信頼を得るために重要と考えることをまとめる	小学校・幼稚園・保育所における教育相談の役割 校内及び関係諸機関の理解と連携	相談者との信頼関係を築くために必要な点をまとめる	氏原寛・東山紘久「幼児保育とカウンセリングマインド」ミネルヴァ書房
第2回 内容	友人の相談に乗るときに気をつけていることをまとめる	教育相談の基本的な態度と技法(1) ロールプレイング	人の話を聴く上での留意点をまとめる	平木典子「カウンセリングとは何か」朝日新聞社
第3回 内容	人の話を聴く上での留意点を復習する	教育相談の基本的な態度と技法(2) VTR視聴	カウンセリングで行われていることをまとめる	佐治守夫・飯長喜一郎編「ロジャーズ クライエント中心療法」有斐閣新書
第4回 内容	選択性緘黙の症状、治療方法について、調べる	非社会的問題行動の理解と対応(1) 選択性緘黙	選択性緘黙の症状、治療方法をまとめる	かんもくネット「場面緘黙Q&A—幼稚園や学校でおしゃべりできない子どもたち—」学苑社
第5回 内容	チックの症状、治療方法について、調べる	非社会的問題行動の理解と対応(2) チック、登校・園拒否	チックの症状、治療方法をまとめる	同上
第6回 内容	現代のいじめの特徴について、調べる	反社会的問題行動の理解と対応(いじめ、万引き)	現代のいじめの特徴をまとめる	一丸藤太郎・菅野信夫「学校教育相談」ミネルヴァ書房
第7回 内容	知的障害の症状、治療方法について、調べる	発達障害の理解と対応(1) 知的障害	ダウン症の症状、治療方法をまとめる	池田由紀江(監修)「ダウン症ハンドブック」日本文化科学社
第8回 内容	自閉症の症状、治療方法について、調べる	発達障害の理解と対応(2) 自閉症	自閉症の症状、治療方法をまとめる	佐々木正美「自閉症のすべてがわかる本」講談社
第9回 内容	ADHD・LDの症状、治療方法について、調べる	発達障害の理解と対応(3) ADHD・LD	ADHDとLDの症状、治療方法をまとめる	無藤隆「『気になる子』の保育と就学支援」東洋館出版社
第10回 内容	質問紙法について調べる	進路指導の内容と方法(1) 自己分析(パーソナリティ検査)①質問紙法～エゴグラム～	自分のタイプについて、普段の生活を振り返り、理解を深めるためのレポートを作成する	岡堂哲雄「心理テスト」講談社現代新書
第11回 内容	作業検査法について調べる	進路指導の内容と方法(1) 自己分析(パーソナリティ検査)②パーソナリティ検査(作業検査法～内田クレペリン精神作業検査～)	自分の作業曲線について、普段の生活を振り返り、理解を深めるためのレポートを作成する	同上
第12回 内容	投影法について調べる	進路指導の内容と方法(1) 自己分析(パーソナリティ検査)③パーソナリティ検査(投影法～PFスタディ～)	自分のフラストレーション解消パターンについて、普段の生活を振り返り、理解を深めるためのレポートを作成する	同上
第13回 内容	分担した職業について調べ、発表資料を作成する	進路指導の内容と方法(2) 情報収集・情報交換		村上龍「13歳のハローワーク」幻冬舎、「なるにはブックス」ぺりかん社
第14回 内容	分担した職業について発表の準備をする	進路指導の内容と方法(2) 情報収集・情報交換	発表の際出た質問について再度調べ、レポートを完成させる	同上
第15回 内容	総復習	まとめ		

* **評価方法** 教育・福祉・子育てなど、広く子どもに関するタイムリーな記事を選び、感想を書いてくることを課題とし、講義の始めにグループごとに回覧して、コメントをつけ合うNIE(Newspapers in Education)課題を行う。詳細は、初回に指示する。

* **評価基準** NIE課題10点+毎回の講義内容についての小レポート15点+テスト75点=100点

* **テキスト** 金子智栄子編著「子どもの発達理解とカウンセリング」樹村房

* **参考文献** 氏原寛・東山紘久編著「幼児保育とカウンセリングマインド」ミネルヴァ書房、一丸藤太郎・菅野信夫「学校教育相談」ミネルヴァ書房

[授業概要・到達目標]

保育現場において保育者が子どもを指導するには、保育者が一人ひとりの幼児の内容に目を向け、理解し援助していくことが求められる。『幼児指導法』では理論と演習によって幼児理解のための保育者の基本姿勢を考察し、保育現場における実際の指導方法を身につけることを目的とする。

[授業のねらい・方法]

講義、ディスカッション、演習、ビデオ観察をとおして行う。また様々な保育場面の事例を研究し発表する。

[授業形態](履修条件)

講義とグループディスカッション演習を通して積極的に授業に参加する。適宜ミニレポート、ミニテスト、発表があります。

[各回の授業計画(内容)]

区分	事前学習	授業内容	事後学習	参考文献
第1回 内容	〈幼稚園教育要領・保育所保育指針の序章を熟読する	保育方法の基本とは	(学んだことを整理し、疑問点や質問事項を整理することによってさらなる考えを深め次の授業にそなえる、以下同様)	『幼稚園教育要領』
第2回 内容		幼児期の特性に応じた保育とは		『保育所保育指針』
第3回 内容	↓	発達の時期に応じた保育のあり方		
第4回 内容		遊びによる総合的指導について		
第5回 内容	↓	遊びによる総合的指導について		
第6回 内容		海外の保育と日本の保育について	↓	↓
第7回 内容	指導計画を立てる	保育の計画		
第8回 内容		保育の計画と実践		
第9回 内容	指導計画の提出	保育の計画と実践	↓	↓
第10回 内容		家庭・地域・小学校との連携		
第11回 内容	様々な保育における考察	さまざまな工夫が求められる保育		
第12回 内容	↓	さまざまな工夫が求められる保育	↓	↓
第13回 内容	実践計画のまとめ、発表	保育実践の経験	自分なりの考えをまとめ、レポート提出の準備をする	
第14回 内容	↓	保育実践の経験		
第15回 内容	保育者として目指すもの発表	保育者の成長と保育実践の深まり	↓	

* 評価方法

乳幼児の指導の実際としての幼児指導に関する基本的な知識についてのレポート、ミニテスト、討論参加、実践発表によって総合評価する

* 評価基準

授業参加態度(20点)・レポート(20点)・発表(20点)・試験(40点)による総合評価

* テキスト

小田豊・青井倫子『幼児教育の方法』北王子書房、2009

* 参考文献

『幼稚園教育要領』『保育所保育指針』・小田豊、青井倫子『幼児教育の方法』北王子書房、2008

教育実習Ⅰ

通年 2単位 必修 受講対象学年1・2年次

小学校教諭志望クラス 山中 護
 幼稚園教諭志望クラス 大野 雄子・原子 純
 吉村 真理子・蜂谷 幸子
 蓑田 喜子

[授業概要・到達目標]

1年次に行われる観察・参加実習、2年次の教育実習に関わる事前・事後指導を行う。実習手続きのガイダンス、実習日誌や模擬的な場を想定した指導案の作成、模擬授業・保育、また実習後の振り返りを行い、教育実習への心構えを育成すると共に、実習で得る学びをより深いものにする。

[授業のねらい・方法]

テキストやプリントで基礎的な知識を身につける。視聴覚教材の視聴や模擬授業・保育の体験を通し、スムーズに実習が行えるようにする。実習後は実習体験を今後に生かせるよう振り返り等を行う。

[授業形態] (履修条件)

基本的には講義形式であるが、模擬授業・保育など実践的な内容も含まれる。

本講義を受講していない者は、教育実習(Ⅱ)を行うことが出来ないため、よく留意してほしい。・無断欠席、遅刻、私語等、受講態度の悪い者は、教育実習Ⅱを行う資格がないものとする。教育職員免許状を取得するという自覚を持って受講することを強く望む。

[各回の授業計画(内容)]

区分	事前学習	授業内容	事後学習	参考文献
第1回 内容		2年生 事前オリエンテーション説明会	・配布された教育実習記録や教育実習要項を読んでおく。 ・実習先にオリエンテーションに行く。	
第2回 内容		1年生 教育実習Ⅰオリエンテーション	・配布された実習報告集を読んでおく。 ・実習希望調査票を記入・提出する。	実習報告集
第3回 内容	・実習記録持参のこと [幼稚園]テキスト①p57～65を読む	2年生 実習記録の書き方	・オリエンテーションでうかがったことを実習記録に記入する。	
第4回 内容	[小学校] 1年次の略案に目を通しておく。 [幼稚園]1年時の模擬保育の修正指導案に目を通しておく。テキスト②p58～64を読む。	2年生 学習・保育指導案の作成①	[小学校・幼稚園]実習に向けての準備をする。(幼稚園クラスは全日実習の指導案を作成。指定日に提出する)	[幼稚園]「幼稚園生活の展開と指導計画の作成」チャイルド
第5回 内容	[小学校]参考文献に目を通し、指導案の構想をまとめておく。[幼稚園]テキスト②p116～133を読み保育者の援助を確認しておく。	2年生 学習・保育指導案の作成②	[小学校・幼稚園]・教育実習での実践を念頭に置き書けるよう、多くの文献を読んでおく。	
第6回 内容		2年生 学習・保育指導案の作成③	[小学校・幼稚園]・5/15にまとめた指導案を提出できるように、準備しておく。	
第7回 内容	・実習記録(実習前自己チェック)を持参	2年生 実習前自己チェック・準備等の発表	[小学校・幼稚園]・自己チェックをして気づいた点を改善する。	
2年生・科目等履修生 教育実習 [小学校] [幼稚園] 5/30(月)～6/17(金)				
第8回 内容	[小学校]配布されたプリントを読んでおく。 [幼稚園]テキスト①p25-54を読んでおく。	1年生 実習記録の書き方①	[小学校・幼稚園]・配布されたプリントを読んでおく。	
第9回 内容	[小学校]配布されたプリントを読んでおく。 [幼稚園]テキスト①p76-91を読んでおく。	1年生 実習記録の書き方②		
第10回 内容		1年生 実習記録の書き方③	[小学校]練習用実習記録を提出。 [幼稚園]・ビデオを観て記入した記録を清書し、指定日までに提出。	
第11回 内容		1年生 観察・参加実習で何を学ぶか目標と決意をまとめる	[小学校・幼稚園] 指定日に提出できるように準備する。	
第12回 内容		1年生 実習内諾説明会	[小学校・幼稚園]・各自、実習先に電話連絡をとり、面接の予約をとること。	
第13回 内容	・2年生は掲示される課題に沿って発表内容をまとめておくこと。	1・2年生 教育実習地区報告会①	[小学校・幼稚園]・1年生は、2年生の発表をメモしておく。	
第14回 内容	・2年生は掲示される課題に沿って発表内容をまとめておくこと。	1・2年生 教育実習地区報告会②	[小学校・幼稚園]・1年生は、2年生の発表をメモしておく。	

区分	事前学習	授業内容	事後学習	参考文献
第15回 内容		1年生 観察・参加実習説明会① 2年生 実習記録提出		
第16回 内容	・実習内諾書提出準備 ・給食費持参	1年生 観察・参加実習説明会②	[小学校・幼稚園]・実習先での自己紹介や部分的に参加できる実習を想定し、準備しておく。	
1年生 教育実習(観察・参加) [幼稚園] [小学校] 9/5(月)～9/9(金) ・ 9/12(月)～9/16(金)				
第17回 内容		2年生 実習成績返却、面接希望者対応		
第18回 内容		1年生 観察・参加実習時日誌・感想文提出		
第19回 内容		1年生 模擬授業・保育に向けての指導案の書き方①	[小学校・幼稚園]・配布された資料を読み、指導案の構想を練っておくこと。	[幼稚園]・「幼稚園教育要領」・「指導計画の作成と保育の展開」
第20回 内容	・発表グループを決める。	1年生 模擬授業・保育に向けての指導案の書き方②	・グループ毎に中心となる活動の指導案を作成しておく。	[幼稚園]・「実習報告集」・「実習に役立つ表現遊び」
第21回 内容	・発表グループは、授業・保育の準備をする。	1・2生 模擬授業・保育①	・発表グループは講義内で出た意見を参考に指導案を修正する。発表グループは、修正した指導案を提出すること。	
第22回 内容	・発表グループは、授業・保育の準備をする。	1・2生 模擬授業・保育②	同上	
第23回 内容	・発表グループは、授業・保育の準備をする。	1・2生 模擬授業・保育③	同上	
第24回 内容	・発表グループは、授業・保育の準備をする。	1・2生 模擬授業・保育④	同上	
第25回 内容	・発表グループは、授業・保育の準備をする。	1・2生 模擬授業・保育⑤	同上	
第26回 内容	・発表グループは、授業・保育の準備をする。	1・2生 模擬授業・保育⑥	同上	
第27回 内容	・発表グループは、授業・保育の準備をする。	1・2生 模擬授業・保育⑦	同上	
第28回 内容	・発表グループは、授業・保育の準備をする。	1・2生 模擬授業・保育⑧	[幼稚園] 模擬保育指導案の書き方への疑問点を書き提出する。	
第29回 内容		1年生 [小学校] 指導案の書き方① [幼稚園] 模擬保育を振り返って ・保育実技を学ぶ①	[小学校]・指導案の書き方について参考文献を読んでおく。 [幼稚園]・学んだ保育実技について復習しておく	
第30回 内容		1年生 [小学校] 指導案の書き方② [幼稚園] 観察・参加実習の実習記録を振り返って ・保育実技を学ぶ②	[小学校] 同上 [幼稚園] テキスト① p75-91.111-125.141-147.158-173 を読んでおく	

* 評価方法

課題提出、発表などを総合して評価する。

* 評価基準

課題(8割)、発表(2割)とする。

*成績は2年後期、全授業終了時に発表します。

* テキスト

(小学校実習者1年生)①文部科学省「小学校学習指導要領」東京書籍

②文部科学省「小学校学習指導要領解説 算数編」東洋館出版

(幼稚園実習者2年生)①相馬和子・中田カヨ子編「実習日誌の書き方」萌文書林

②岡本拓子「実習に役立つ表現遊び」北大路書房

(幼稚園実習者1年生)①相馬和子・中田カヨ子編「実習日誌の書き方」萌文書林

②林幸範・石橋裕子編「保育園、幼稚園の実習完全マニュアル」精美堂

* 参考文献

・「実習報告集」本学編集

(幼稚園実習者)

・「幼稚園教育要領」文部科学省 ・「指導計画の作成と保育の展開」文部省 ・「幼稚園生活の展開と指導計画の作成」チャイルド

保育・教職実践演習(幼稚園)

半期 2単位 選択 受講対象学年2年次

吉村 真理子・大野 雄子
新田 司・久保木 健夫
原子 純

[授業概要・到達目標]

教員として求められる①使命感や責任感、教育的愛情について、②社会性や対人関係能力について、③幼児理解やクラス経営などについて、④教科・保育内容の指導力について、学修を振り返りの中から課題を自覚し、必要に応じ知識や技能を補い、その定着を図ることにより、教職生活をより円滑にスタートできるような技術、心構えを養うことを目的とする。

[授業のねらい・方法]

これまでの学修の成果と課題に基づき、幼児理解・保育技術において個々に課題となっている点を少人数グループでの演習を通して重点的に補うとともに、模擬保育・現地調査等を通じて現場で役立つ指導のあり方を身につける。

[授業形態](履修条件)

演習(少人数制)、*、**はオムニバス形式

区分	事前学習	授業内容	事後学習	参考文献
第1回 内容		個々の課題についての整理と今後の学習の目的と課題の発見(グループ討議)	・次回以降の授業について再確認する。	
第2回 内容	これまで学んだ教職関連科目の内容について再確認する。	*教職の意義、教員の役割、職務内容について(講義、グループ討議)	授業内容についてレポート等をまとめる。	授業内で周知する。
第3回 内容	実習中に必要となった社会人としてのマナーについて振り返っておく。	*社会人としてのマナーと組織内での社会性(挨拶、言葉遣いを含む)について(ロールプレイ、グループ討議)	同上	同上
第4回 内容	実習中に学んだ、保育者と保護者との連携についてまとめておく。	*幼稚園教諭としての責任と子ども・保護者への対応について(ロールプレイとグループ討議)	同上	同上
第5回 内容	分離不安や選択性緘黙について理解しておく。	*幼児理解とクラス経営 登園しぶりや特別な支援を要する子への対応など教育の今日的な課題について(講義、討議)	同上	同上
第6回 内容	教育実習記録と指導案を再確認する。	*保育記録と指導案の作成 (講義、演習)	同上	同上
第7回 内容	保育の中の言語活動についてまとめておく。	**保育技術の向上を目指して「幼児期における豊かな言語生活について」(講義、模擬保育)	同上	同上
第8回 内容	工作的な作品を選択し完成作品を持参する。	**保育技術の向上を目指して「幼児期における豊かな造形表現について」	同上	同上
第9回 内容	保育の中の音楽表現についてまとめておく。	**保育技術の向上を目指して「幼児期における豊かな音楽表現について」(講義、模擬保育)	同上	同上
第10回 内容	保育の中の身体表現についてまとめておく。	**保育技術の向上を目指して「幼児期における豊かに身体表現について」(講義、模擬保育)	同上	同上
第11回 内容	保育の中の人間関係についてまとめておく。	**保育技術の向上を目指して「幼児期の心の発達と人間関係について」(講義、模擬保育)	同上	同上
第12回 内容	幼稚園・小学校、保育所・小学校の連携についての文献、新聞記事等読んでおく。	子どもの支援をめぐる小学校と幼稚園の連携について(特別講義講師を招聘しての講義、討議)	同上	同上
第13回 内容		資質能力の確認(グループの発表、討議)		
第14回 内容		現地調査(公開保育や公開研究会等に参加または、課題に即した施設での調査をする)		
第15回 内容		現地調査の報告		

* 評価方法

課題への取り組み姿勢、各回に提出するレポート、提出物の内容より総合的に評価する。

* 評価基準

各回の授業態度、レポート80点、現地調査への参加姿勢・レポート20点とする。

* テキスト

なし

* 参考文献

授業内で紹介する。

教職実践演習(小学校)

半期 2単位 選択 受講対象学年2年次

森 重 俊 幸・山 中 護

[授業概要・到達目標]

教員経験者による講義や今日的課題に関する事例研究, 授業参観や地域イベント, 公開研究会への参加等を含めた現地調査及び模擬授業等を取り入れグループ討論を中心として授業展開を行い, 小学校教員に必要な資質や能力についての理解を深め, 実践力を養う。

[授業のねらい・方法]

教育に対する使命感や情熱をもち, 他の教職員や保護者・地域の関係者と良好な人間関係を築きながら, 児童の発達や心身の状況及び教科内容を理解した上で, 個に応じた指導力を高め, 実践的視野を広めるようにする。

[授業形態](履修条件)

小学校教員に必要な資質や能力の育成にむけ, 授業参観や公開研究会等への参加を含めた現地調査・模擬授業を取り入れ, 基本的には講義形式で行い, 演習や協議等を取り入れる。

[各回の授業計画(内容)]

区分	事前学習	授業内容	事後学習	参考文献
第1回 内容	シラバスを精読する	オリエンテーション	授業内容をまとめる	授業の中で適宜紹介する。
第2回 内容	授業テーマについて調べる	教員経験者による教職の意義や教員の役割, 職務内容, 児童に対する責任等に関する内容。	授業内容をまとめる	同上
第3回 内容	授業テーマについて調べる	いじめや不登校に関するロールプレイングや事例研究	授業内容をまとめる	同上
第4回 内容	授業テーマについて調べる	特別支援教育に関する事例研究	授業内容をまとめる	同上
第5回 内容	授業テーマについて調べる	授業参加や地域イベント, 公開研究会参加等現地調査の計画	授業内容をまとめる	同上
第6回 内容	授業テーマについて調べる	現地調査	現地調査をまとめる レポート提出	同上
第7回 内容	授業テーマについて調べる	学級経営案の作成に関する講義・学級経営案の作成	授業内容をまとめる	同上
第8回 内容	授業テーマについて調べる	学級経営案の作成・グループ討論	授業内容をまとめる 学級経営案の提出	同上
第9回 内容	授業テーマについて調べる	学習意欲を育む授業づくり及び評価に関する講義・グループ討論	授業内容をまとめる	同上
第10回 内容	授業テーマについて調べる	指導案の作成・グループ討論	授業内容をまとめる	同上
第11回 内容	模擬授業の準備	模擬授業・グループ討論	授業内容をまとめる	同上
第12回 内容	授業テーマについて調べる	現場教職員による小学校及び幼稚園の連携の実際に関する講話・グループ討論	授業内容をまとめる	同上
第13回 内容	模擬授業の準備	模擬授業・グループ討論	授業内容をまとめる	同上
第14回 内容	模擬授業の準備	模擬授業・グループ討論	授業内容をまとめる	同上
第15回 内容	これまでに学習してきたことをまとめておく。	教員として必要な資質・能力の確認・まとめ	授業内容をまとめる	同上

* 評価方法

課題への取組姿勢, レポート, 提出物等の内容を評価する。

* 評価基準

レポート(70%), 提出物等(30%)を総合的に評価する。

* テキスト

授業内容に応じたプリントを適宜配布する。

* 参考文献

文部科学省「小学校学習指導要領」平成20年8月 東京書籍